

統合システム運用管理
JP1 Version 12 総合カタログ V12.6

HITACHI
Inspire the Next

JP1



オンプレミスからクラウドまで、 複雑化・多様化するITシステムを統合管理。 未来へ進むなら、JP1 Version 12。

ハイブリッドクラウドやマルチクラウドといった、ITシステムの多様化。

システムごとに異なる運用管理スキル、そして豊富な運用管理経験が求められ、

IT技術者にかかる負担は、ますます大きくなっています。

その一方で、慢性的な人材不足はいまだに解消されていません。

IT環境の複雑化に加え、DXの加速が求められる今、ミッションクリティカルなオンプレミスと

急速に活用が広がるクラウドのITシステムを、いかに効率よく安定稼働させるかが喫緊の課題となっています。

複雑化・多様化するITシステムを統合管理するJP1は、クラウドレディ。

オンプレミスとクラウドを横断する業務実行の効率化と安定稼働を支援します。

さらに、IT運用の標準化・自動化による効率的な運用の実現で、人材不足や属人化といった問題の解消を後押し。

オンプレミスでもクラウドでも安心してお使いいただけるJP1が、ビジネスの競争力の向上に貢献します。

JP1は、未来へ進むお客さまのために。





多くのお客さまに選ばれる理由があります。

1994年に販売を開始して以来、それぞれの時代やビジネスに合わせて新しい価値を提供してきた、JP1。お客さまシステムの運用を最適化するための対応を積み重ね、金融をはじめとする各種産業や官公庁など、業種、企業規模を問わず幅広いお客さまに選ばれています。お客さまのビジネスを支えるために、JP1はこれからも時代の変化に即応し、進化し続けていきます。

長年の製品開発で培った確かな品質

蓄積してきた技術ノウハウや経験を製品開発に反映し、複雑化・多様化したシステムにも適用できる信頼性の高い品質を維持しています。また、異なるバージョン間での互換性も維持しているため、段階的にシステムを入れ替えるといった計画的なバージョンアップも推進できます。

さまざまなプラットフォームや環境に適用可能

JP1は、Windows、Linux[®]、UNIXといった各種プラットフォームをはじめ、クラスタや仮想化プラットフォーム、クラウドサービスなど、幅広い環境に適用できます。プラットフォームの最新動向にもいち早く対応します。

10年間保証で、充実のサポートサービス

サポートサービス商品「日立サポート360」は、同一バージョンで最低10年間のサポートを保証します。たとえば、サーバの入れ替え周期が5年の場合、2サイクルまで標準サポートで対応可能。また、システムの安定稼働のために、問題解決の支援・情報の提供・改良版の提供といった3つの要素を柱として、お客さまを長期にわたりサポートします。

JP1のプロフェッショナルがお客さまをサポート

全国に6.5万人以上いるJP1資格認定取得者が、お客さまをサポートします。システムの規模、環境、要件に応じて、構築作業の支援やシステム変更時のコンサルテーションに対応するため、導入後も安心です。

MADE IN JAPANの品質と安心を世界へ

各国語のOSをサポートし、世界各地での利用に対応。導入実績も豊富にあります。日本だけでなく、アジア、北米、ヨーロッパなどにも販売・サポート拠点を設けて世界全域をカバー。お客さまのビジネスにとって重要なシステムの運用管理をしっかりと支えます。

複雑な運用の 自律化を推進する コンセプトカテゴリ



Intelligence

個々に存在する多種多様なデータとその関連性やナレッジを統合的に管理し、運用ポリシーに従った操作の集中制御により、ビジネスやサービスの価値向上に貢献できるインテリジェントなIT運用を実現します。

Intelligent Monitoring

お客さまのサービスやビジネスを支えるITシステムの掌握と分析により、システムの安定稼働を実現します。

Intelligent Automation

お客さまのサービスやビジネスを支えるITシステムを計画的に動かし、信頼性の高いミッションクリティカルなシステム運用を実現します。

Intelligent Governance

お客さまのサービスやビジネスを支えるITシステムの適切な利用統制で、IT利用環境と機密情報の維持・保全を実現します。

INDEX

統合管理	システムに関わるデータを統合し、さまざまな観点で分析・活用できるようにしたい	・・・ P5
統合管理	システムの障害や問題の発生を迅速・確実に知らせてほしい	・・・ P6
IT運用自動化	日々のIT運用を自動化し、オペレーションミスの防止や効率向上につなげたい	・・・ P7
IT運用自動化	手順や実行するツールの情報を集約し、的確に効率よく業務を行えるようにしたい	・・・ P8
IT運用自動化	作業内容、作業時間を記録・可視化して、業務の効率化を推進したい	・・・ P9
IT運用自動化	実作業を的確に把握し、RPAロボット開発を容易にしたい	・・・ P10
ITサービス管理	問い合わせや障害などの案件に、正しいプロセスで効率よく対処したい	・・・ P10
インフラストラクチャ管理	仮想環境やクラウドの利用で複雑化するIT基盤の管理・運用を効率化したい	・・・ P11
パフォーマンス管理	システム性能を監視し、システムを安定稼働させたい	・・・ P13
ネットワーク管理	ネットワークの集中管理と迅速な障害対応を実現したい	・・・ P14
ジョブ管理	多様化する業務を自動化し、業務全体の効率化と安定稼働を図りたい	・・・ P15
ジョブ管理	RPAの利用も含めた一連の業務プロセスを自動化したい	・・・ P17
ジョブ管理	大容量のファイルを簡単・安全に転送したい	・・・ P17
バックアップ管理	多様化するシステムを統合的にバックアップし、データを守りたい	・・・ P18
バックアップ管理	WindowsやLinux環境のバックアップを簡単な操作で実現したい	・・・ P18
資産・配布管理	IT資産を適切に管理し、セキュリティリスクから守りたい	・・・ P19
セキュリティ管理	情報漏えいを未然に防ぐセキュリティ対策で、安全に情報を利用したい	・・・ P20
	製品一覧	・・・ P21
	関連サービスのご紹介	・・・ P25

JP1/Integrated Management 2

システムに関わるデータを統合し、さまざまな観点で分析・活用できるようにしたい

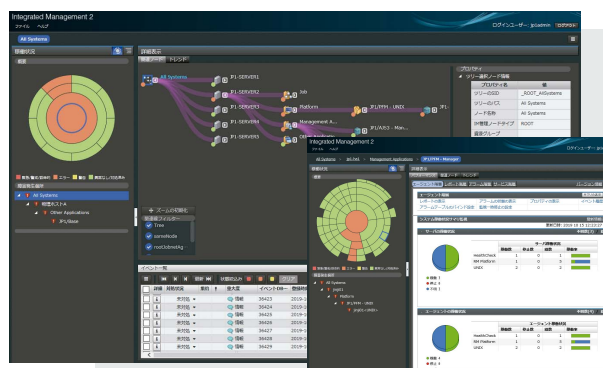
JP1/Integrated Management 2は、システムで発生する事象（イベント）やシステムに関わるさまざまなデータと、その関連性を統合管理し、利用者に応じた情報の提供・活用を支援する製品です。システムの構成情報、アラート情報、業務の実行状況やアプリケーションの稼働状況、KPIやコストなどのビジネス判断に必要な任意の情報などを収集し、エンジニアが持っている知識や知見といったナレッジをもとにして、収集したデータの関連付けができます。また、それらのデータを利活用するための統一された共通のインタフェースを提供します。そのため、立場や役割が異なる利用者が、情報のありかや入手のインタフェース、データの構成や関連性を意識することなく、必要な情報を容易に確認できます。さらに、事象が発生した際は、蓄積した運用ルールやナレッジに基づいて提示される提案を選択・実行することで、特定の人に依存しない迅速・確実な対応が可能になります。これらによって、発生した事象への的確な運用判断をしたり、対策優先度をビジネスやサービスの視点で判断したり、対策にあたるさまざまな役割の関係者が状況把握や情報共有を迅速に行えるなど、システム全体のインテリジェントな統合運用を実現します。

導入効果

- システムの構成要素やインタフェースを意識することなく、必要な情報を、必要なときに確認・共有できます。
- システム全体の監視に必要な情報を1つの画面で確認できるため、システム監視の負担を軽減します。
- 知識や知見などのナレッジで情報と情報を関連付けて可視化・蓄積できるため、特定の人に依存しないシステム運用を可能にします。
- 複数システムの関連をひと目で確認でき、障害発生時の影響範囲を迅速に把握できます。
- 管理者への自動通知や初動対応を自動化することで、重要事象の見逃しや対応漏れを防止します。
- リアルタイムのシステム状況から運用ルールやナレッジに基づく最適な対応が利用者に提案されるため、利用者は提示された提案を選択・実行することで迅速かつ確実に対応できます。さらに、IT運用最適化サービス AI for IT Operations*との連携により、運用実績を学習したAIによる提案を利用した対応も可能になります。

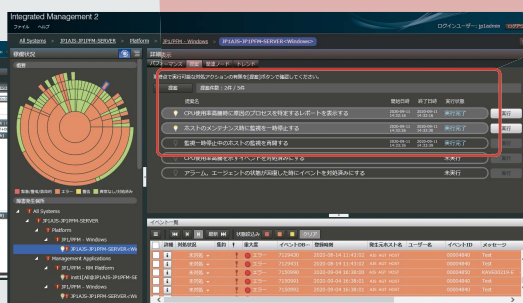
現時点で実行可能な対応アクションの概要を1画面1ボタンで確認してください。

提案名	提案件数: 2件 / 5件	開始日時	終了日時	実行状態	実行
CPU使用率高騰時に障害のプロセスを特定するレポートを表示する		2020-08-11 14:32:16	2020-08-11 14:32:16	実行完了	実行
ホストのメンテナンス時に監視を一時停止する		2020-08-11 14:32:26	2020-08-11 14:32:26	実行完了	実行
監視一時停止中のホストの監視を再開する		2020-08-11 14:32:35	2020-08-11 14:32:35	実行完了	実行

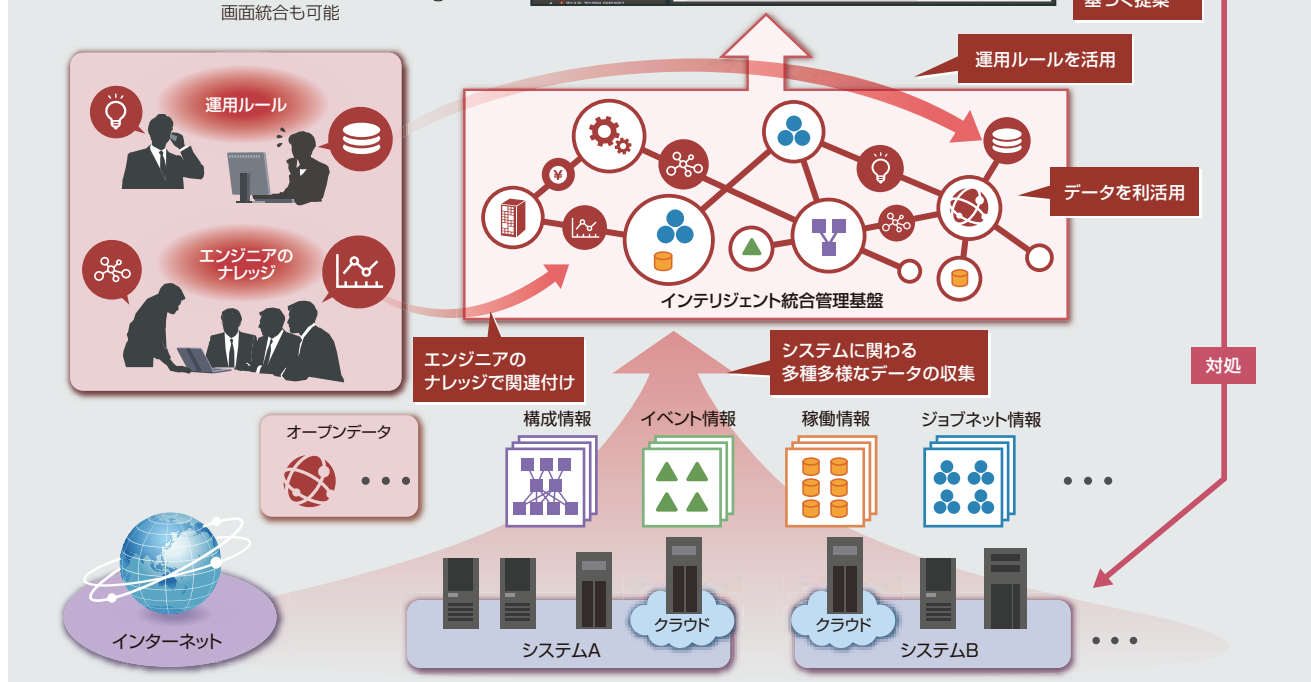


統合オペレーションビューアー

JP1/Performance Managementの画面統合も可能



IT運用最適化サービス AI for IT Operations*

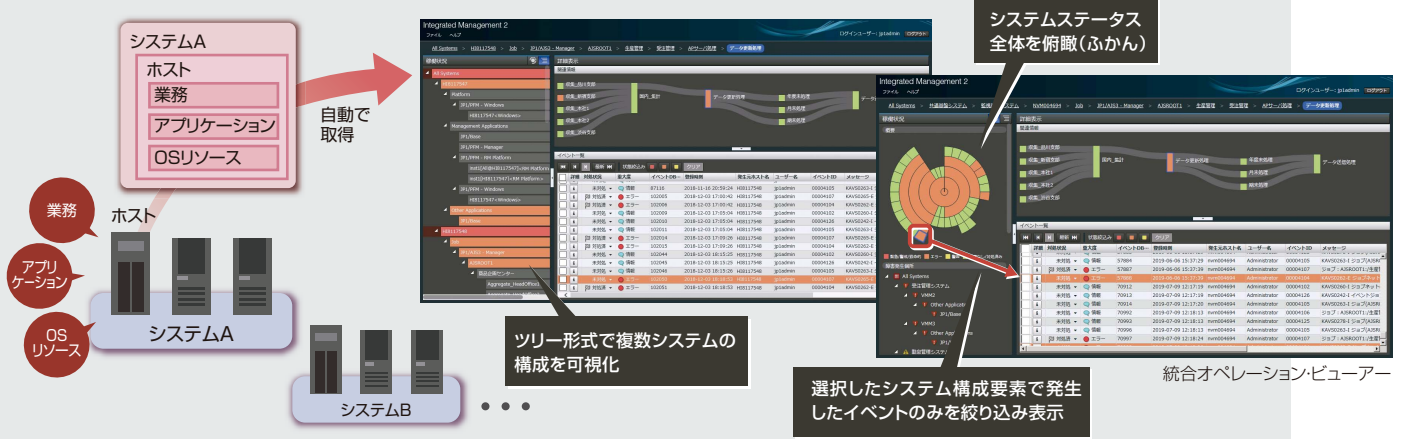


* IT運用最適化サービス AI for IT Operationsは、日本でのみ販売しているサービスです。

JP1/Integrated Management 2

システム全体の健全性を把握可能

システムの構成要素とそのシステムで発生したすべてのイベントを可視化して統合管理できるため、システム全体のステータスをひと目で確認でき、システム全体の健全性を容易に把握できます。



問題予兆や障害発生時の業務への影響範囲を分析可能

業務やサーバ、仮想環境、ネットワークなどのシステム構成要素の関係性をエンジニアのナレッジをもとに関連付けて可視化できるため、特定の人に依存することなく、イベントが発生した箇所を起点に影響範囲を迅速に把握して対処できます。さらに、イベントが発生したサーバのCPU、メモリーなどの使用状況や業務の実行状況に関するトレンド情報を同じ時間軸で並べて表示して相関関係を確認できるので、原因の一次切り分けを迅速化できます。



JP1/TELstaff AE Professional Edition 日本限定販売

システムの障害や問題の発生を迅速・確実に知らせてほしい

JP1/TELstaff AE Professional Editionは、システム運用中に発生した障害や問題を、さまざまな手段でリアルタイムに通知する製品です。パトロールランプ、電話、メールのほかデスクトップでのメッセージ、館内放送など、受け手に合わせた通知手段で担当者に異常を伝えます。担当者が通知を受け取ったことを確認できない場合は、通知を繰り返したり、ほかの担当者へ通知することで、通知の見落としや通知不可状態による対応の遅れを防止できます。

導入効果

- 平日はパトロールランプ、休日は携帯電話への通知など、通知手段を使い分けることができるので、各職場に合わせた柔軟な運用ができます。
- 同一障害の通知を抑制して通知数を減らすことで、別で発生した障害通知などの見逃しを防止できます。
- 通知機器の稼働を監視しているので、通知機器の異常によって通知できないという事態を防ぎます。

JP1/Automatic Operation

日々のIT運用を自動化し、オペレーションミスの防止や効率向上につなげたい

JP1/Automatic Operationは、システムにおける日々のIT運用を自動化する製品です。人の判断が必要なため自動化しづらい運用も、応答を入力する処理を入れることで自動化できます。サーバの稼働状況の確認やサーバの起動・停止・再起動といった日々の業務、仮想マシンの追加・削除や、障害発生時の復旧業務といった不定期に発生する業務など、複雑な作業や時間を要する作業も含めてさまざまなIT運用を自動化できるため、作業時間の短縮と効率向上を図れます。

導入効果

- OSの更新プログラムの適用やサーバの起動など、手間のかかる日々のIT運用を自動化することで作業工数を削減できます。
- 複雑な作業や実行頻度の低い作業で発生しがちなオペレーションミスを排除できるなど、作業品質を向上できます。
- 専門知識やノウハウが必要なIT運用を自動化することで、担当者の経験やスキルに左右されない高品質で効率的なIT運用を実現できます。

JP1/Automatic Operationで自動化できるIT運用例

定常運用

サーバ台数が多く手間がかかる日々の業務

- ・サーバの稼働状況の確認
- ・サーバの起動・停止・再起動
- ・パスワード変更
- ・OSの更新プログラム適用
- ・ジョブの管理・メンテナンス
- ・運用レポートの出力
- ・ログのメンテナンス

臨時運用

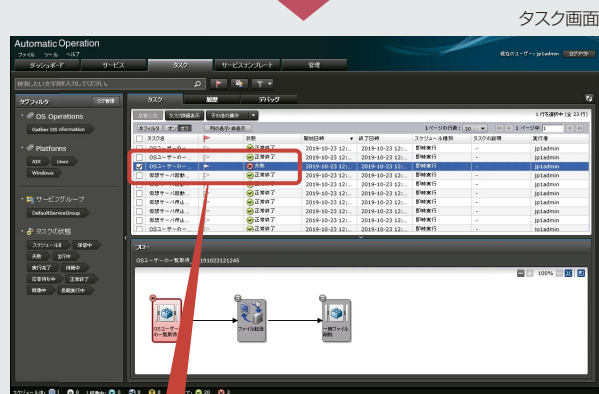
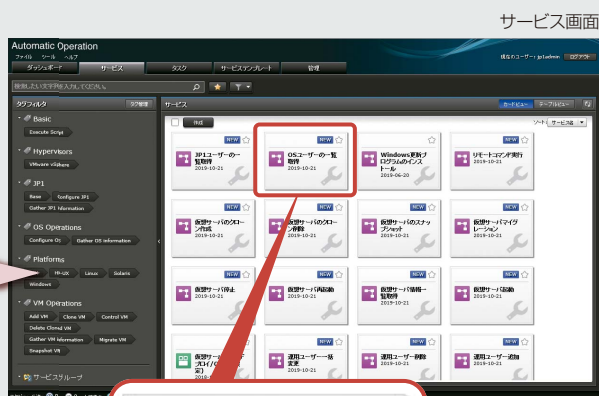
システム変更作業や仮想マシンの運用など不定期に発生する業務

- ・仮想マシンの追加・削除
- ・仮想マシンの起動・停止・再起動
- ・ストレージ、ネットワーク機器、システム監視製品の設定変更
- ・監視対象のノード、サーバ追加
- ・バックアップ・リストア

障害運用

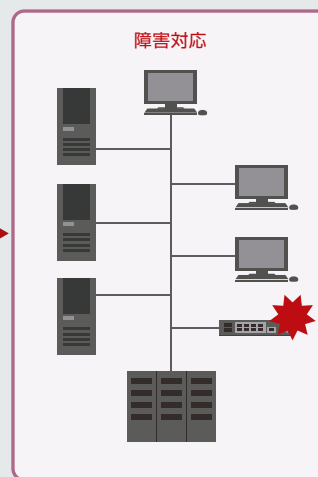
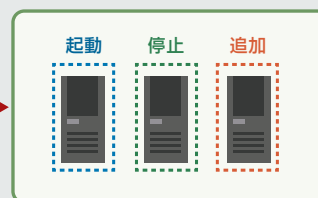
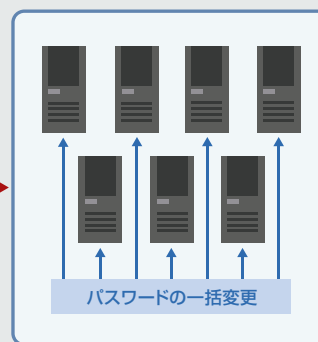
障害発生時の復旧業務

- ・障害発生時の一時対処
- ・影響範囲の調査
- ・障害対応のログ採取
- ・障害要因の調査
- ・インシデント情報の更新



処理の実行状況を確認

エージェントレスで自動実行



JP1/Navigation Platform

手順や実行するツールの情報を集約し、的確に効率よく業務を行えるようにしたい

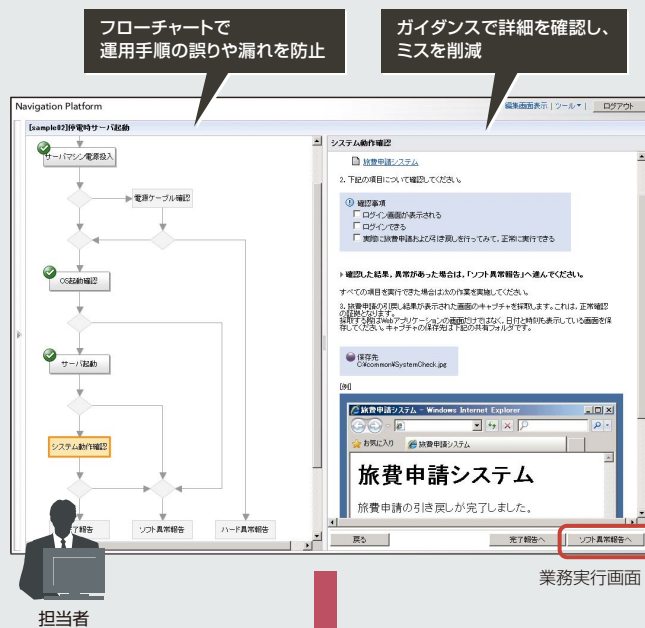
JP1/Navigation Platformは、日々行う業務の作業手順を可視化・共有化し、担当者が的確に効率よく作業を遂行できるようナビゲートする製品です。担当者は、運用手順の流れを示すフローチャートと、各ステップの作業内容を文章や図で説明するガイドンスを参照することで、作業を確実に実施できます。運用手順を参照して実施した作業は、履歴が自動保存され、作業実施報告のエビデンスとして活用できます。さらに、改善が必要な運用手順を画面上で変更して、担当者間で共有できるため、改訂内容の周知徹底を効率化でき、継続的な業務改善につなげられます。

導入効果

- 運用手順を可視化・共有化することで、担当者の入れ替わりが多い現場でも、熟練者のノウハウ共有が容易になり、教育期間を短縮できます。
- 自動保存された作業履歴を活用して業務実行状況を分析することで、業務効率の改善に役立てることができます。
- 地下室やセキュリティ管理区域など、ネットワークが利用できないオフライン環境でも、運用手順を参照して業務を実行できます。
- IT運用を自動化するJP1/Automatic Operationと組み合わせると、手順書の一部の作業を自動化することで、さらなる効率向上と作業品質の均一化が図れます。

的確な操作をナビゲート

フローチャートとガイドンスに従って、担当者は確実に作業を実施できます。



運用手順の自動化も可能

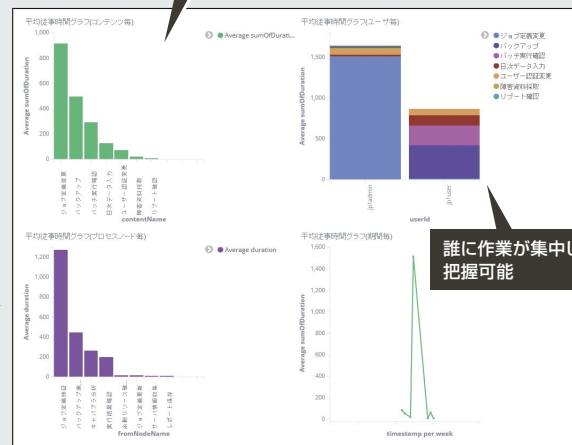
JP1/Automatic Operationと連携して、運用手順の一部を自動化することも可能です。

JP1/Automatic Operationの処理フローの例



JP1/Automatic Operation

どの作業に時間が かかっているかを把握可能



作業履歴を自動保存

ユーザーID	作業開始時刻	コンテンツ名	遷移種別	遷移元ノード名	遷移先ノード名
user1	7/7 01:20:12	〇〇運用手順	次へ	A	B
user1	7/7 01:21:35	〇〇運用手順	次へ	B	C
user1	7/7 01:22:52	〇〇運用手順	戻る	C	B

運用手順の改善検討に役立つ

時間がかかっている作業や、ミスが多い作業など、見直しが必要な作業を把握でき、業務の改善に役立ちます。

作業履歴をもとに
作業実績を集計して
グラフ表示

JP1/IT Process Operations 日本限定販売

作業内容、作業時間を記録・可視化して、業務の効率化を推進したい

JP1/IT Process Operationsは、ITシステムの運用業務における作業内容や作業時間などを簡単に記録する製品です。PCで実施する作業に影響を与えることなく、操作画面と画面上で行った操作内容、利用したアプリケーション、作業時間などを記録します。記録した内容は画面と操作内容をあわせて確認できるため、そのまま簡易手順書として利用可能。作業時間の短縮やオペレーションミスの防止に役立ちます。また、管理サーバに収集した作業記録を簡単に集計・グラフ化できるため、作業ごとの所要時間や回数、担当者ごとの作業時間の推移やばらつき、繁忙期・閑散期の作業状況を容易に把握できます。作業プロセス改善や業務配分の適正化に活用できるだけでなく、業務効率化を進めるための作業手順の標準化・自動化にも役立てることができます。

導入効果

- 明文化されていない作業内容を記録して、簡易手順書として利用できるため、業務の効率化・標準化を容易に実現できます。
- 業務の作業内容、作業時間を記録して可視化することで、業務実態の定量的な把握が容易になり、業務プロセスの改善に役立てることができます。
- 作業実績から、実施回数の多い作業や時間がかかる作業を把握できるため、自動化することによって負荷軽減や効率アップの効果が見込める作業を容易にピックアップできます。



JP1/IT Process Operations for RPA 日本限定販売

実作業を的確に把握し、RPAロボット開発を容易にしたい

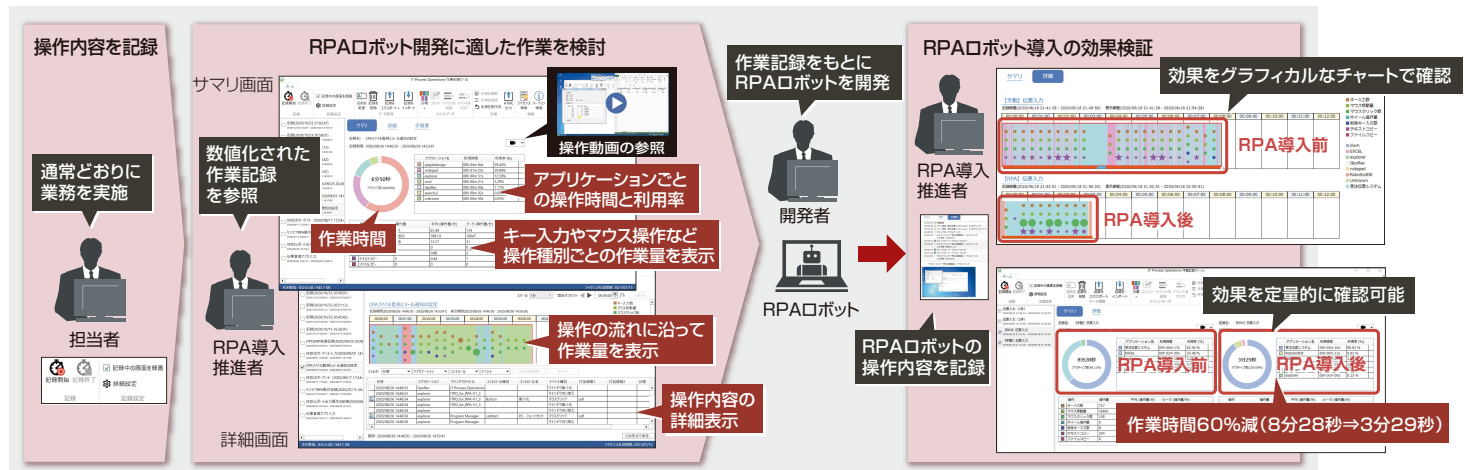
JP1/IT Process Operations for RPAは、RPAロボット開発に必要なPCの操作内容や作業の流れを把握するためのマウス・キーボード操作や画面遷移を簡単に記録する製品です。担当者が通常どおりに業務を行うだけで、実際のオペレーションを操作履歴と動画にして記録。RPAロボット開発に必要な担当者への業務ヒアリング・情報整理にかかる時間を大幅に削減できます。また、業務ごとの作業時間や、キー入力やマウス操作など操作種別ごとの回数や作業時間を数値化。これによって、操作内容の詳細を定量的に把握したり、操作の流れに沿って各操作の作業量をグラフィカルなチャートで確認したりできます。RPAロボット化に適した、単純で操作量が多い作業を容易に特定できるだけでなく、RPA導入前後の数値を比較することで、導入効果を定量的に把握することもできます。さらに、開発したRPA

ロボットの操作内容を記録して可視化し、開発したRPAロボットの仕様書作成に活用することもできます。

RPA : Robotic Process Automation

導入効果

- PCの操作内容や作業の流れを簡単に記録できるので、RPAロボット開発に必要な情報収集（現状把握・情報整理）にかかる時間を大幅に短縮できます。
- RPAロボット化に向いている作業箇所を特定したり、どの業務を優先してRPAロボット化するのが有効かの判断が容易になります。
- RPA導入前後の作業時間を記録し、比較することで、定量的な効果検証が可能となります。
- 開発したRPAロボットの動作を記録することで、開発したRPAロボットの仕様書作成を効率化できます。



Intelligence ITサービス管理

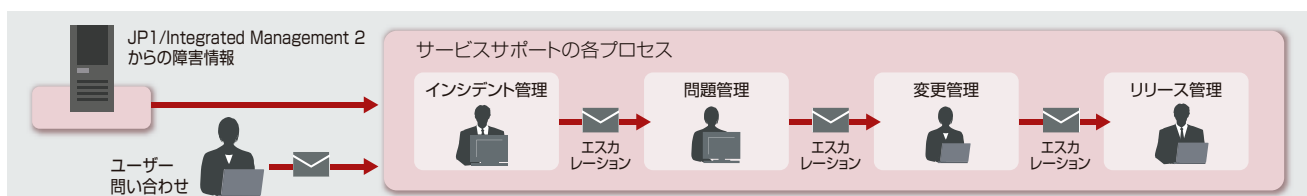
JP1/Service Support

問い合わせや障害などの案件に、正しいプロセスで効率よく対処したい

JP1/Service Supportは、利用者からの問い合わせやシステムで発生した障害などの案件について、対応状況や進捗状況を一元管理する製品です。「インシデント管理」「問題管理」「変更管理」「リリース管理」といったITILサービスサポートのプロセスに沿って案件を管理することでプロセスごとの役割を明確化し、案件ごとの対応状況や進捗状況などをチーム全体で共有できます。案件の登録や優先度の設定を自動で行うことができ、登録漏れや登録ミス、対応者によるばらつきなどを抑制し、チーム内での統制が図れます。

導入効果

- 案件への対応が一定期間されていない状況が続いたり、作業期限が近づいたりすると、担当者に自動で滞留通知のメールが送られるため、案件の対応漏れを防止できます。
- JP1/Integrated Management 2からの案件の自動登録により、入力作業の負担を軽減でき、登録漏れや登録ミスも防止できます。
- 案件の対応履歴を蓄積して参考にできるため、類似案件の障害要因の一次切り分けや対処方法の調査にかかる時間を短縮でき、迅速な対応が可能になります。



JP1/Operations Analytics

仮想環境やクラウドの利用で複雑化するIT基盤の管理・運用を効率化したい

JP1/Operations Analyticsは、仮想環境やクラウドの利用によって複雑化するIT基盤の管理・運用作業を改善し、効率向上を支援する製品です。業務システムで利用している仮想マシンやコンテナ、サーバ、スイッチ、ストレージなどのIT基盤の構成情報を自動収集し、アプリケーションと関連付けて可視化できます。また、システムの稼働状況の報告やリソースの配置変更の検討に役立つ情報をまとめたレポートの作成を支援します。障害発生時には、業務システムへの影響や、アプリケーションとリソースで発生している事象の因果関係など、障害要因の特定に必要な情報がわかりやすく表示されます。さらに、復旧対応の候補と、それぞれの対応後の影響内容が表示されるので、最適な対応を検討できます。

導入効果

- 仮想マシンやコンテナ、サーバ、スイッチ、ストレージなどのIT基盤の構成とアプリケーションとの関連を容易に把握できます。
- クラウドとオンプレミスのハイブリッド環境の構成情報、稼働状況を一元的に把握できます。
- 障害が発生した際には、業務システムへの影響や優先順位、緊急度を判断でき、的確な初動対応を迅速に行えます。
- 高いスキルやノウハウが必要とされる障害要因の調査・分析作業や対処方法の決定を効率よく行うことができ、障害復旧までの時間を大幅に短縮できます。
- システムのヘルスチェックやキャパシティプランニングに利用できるレポート作成が容易になります。

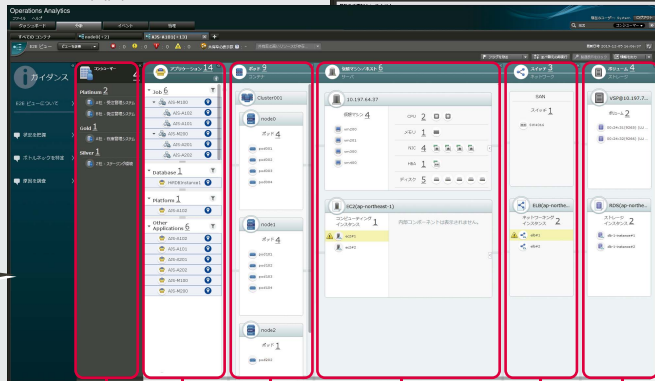
日常運用時のユースケース

システム稼働状況と構成情報の可視化

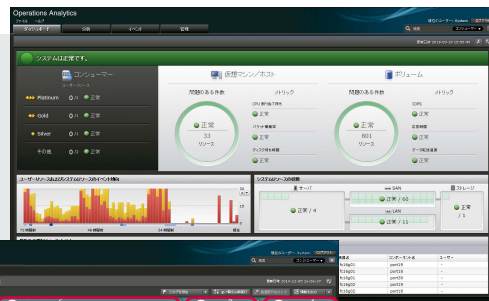
各業務システムで利用しているサーバやデータベース、アプリケーションのイベント発生状況、IT基盤の稼働状況をダッシュボード画面で監視できます。また、各アプリケーションが、どのコンテナや仮想マシン、物理サーバに配置されているのかなど、構成や関連を容易に把握することができます。

Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなどのパブリッククラウド上にあるサーバを、オンプレミスのサーバと区別して可視化

E2Eビュー画面



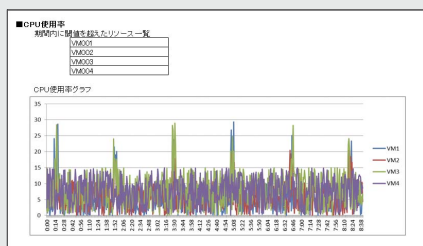
ダッシュボード画面



レポート作成支援

レポート作成支援コンテンツ^{*1}を利用することで、システムの稼働状況を報告したり、リソースの配置変更を検討する際のレポートを容易に作成できます。

^{*1} サポートサービスご契約者さま専用ホームページからダウンロードできます。



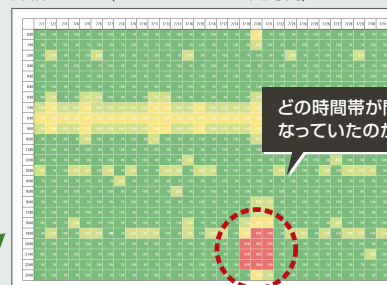
サマリレポート

問題のあるリソースや余剰リソースを確認

問題箇所を詳細に見る

キャパシティプランニングの検討を行う

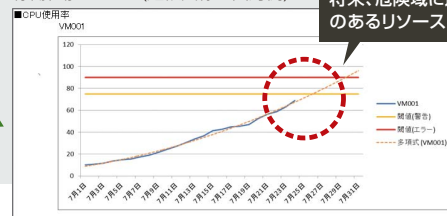
詳細レポート(ヒートマップ*2の出力例)



どの時間帯が問題となっていたのかを特定

^{*2} データを可視化するために、行列型の数字データの強弱を色で視覚化する方法

稼働性能レポート(近似曲線の出力例)



将来、危険域に達する可能性のあるリソースを把握

障害対応時のユースケース

1

障害発見と緊急度の判断

業務システムの重要度別に稼働状況や障害の発生状況がわかるため、優先順位や緊急度を的確に判断できます。

業務システムの重要度別に障害の影響や稼働状況を把握

ダッシュボード画面



2

障害の影響把握と関係者への一報

サーバ、スイッチ、ストレージなどのIT基盤やアプリケーションと、業務システムとの関連や障害の影響範囲を把握でき、関係者への迅速な一報が可能です。

JP1/Integrated Management 2からイベントを取得しE2Eビュー画面に反映

E2Eビュー画面



ボトルネック分析画面(影響を確認)

3

障害要因の調査・分析

障害要因の特定に必要な情報がわかりやすく表示されるため、調査・分析作業を効率よく行えます。

アプリケーションの障害イベントや構成の変更イベントと、リソース状況を照らし合わせて関連を確認

イベント分析ビュー画面



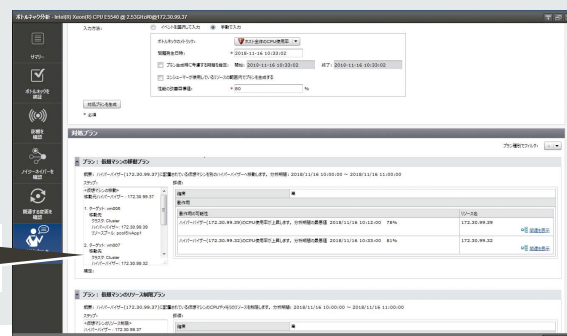
性能分析ビュー画面

4

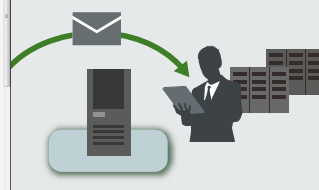
復旧対処の検討

復旧対処候補と、それぞれの対処後の影響内容を確認して、最適な対処を検討できます。

復旧対処候補を確認して、対処方法を決定



作業手順を可視化するJP1/Navigation Platformと連携することで、復旧作業を確実に実行可能



ボトルネック分析画面(対処プランを確認)

JP1/Performance Management

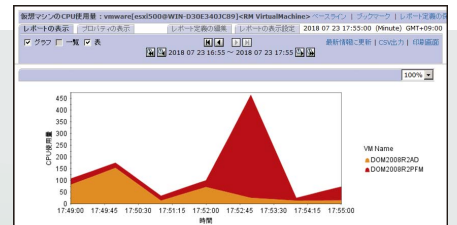
システム性能を監視し、システムを安定稼働させたい

JP1/Performance Managementは、OS、データベース、各種アプリケーション、仮想環境など、さまざまな監視対象から稼働情報を収集し、パフォーマンス低下の事前検知や、チューニングに役立つレポート出力などにより、システムの安定稼働を支援する製品です。オンプレミス、クラウドの両環境に対応しており、監視対象が多岐にわたっていても、それぞれの監視専用ツールを使わずに効率よく監視できます。蓄積した過去の稼働実績データとシステムの稼働状況を時系列で比較することによって、相対的に評価することもできます。将来ボトルネックになりそうな箇所を特定でき、勘に頼らないキャパシティプランニングを行えます。

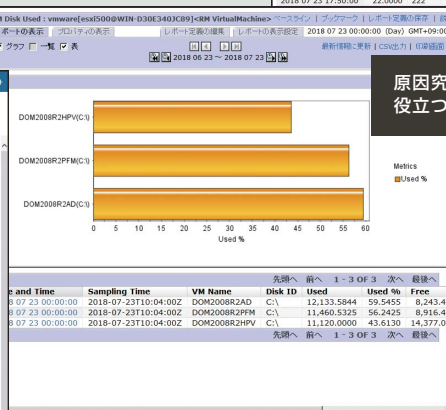
導入効果

- サーバで稼働しているアプリケーションのプロセスやWindowsサービスの死活状況、プロセスごとの稼働情報に加え、ほかの管理ツールで取得した稼働情報も合わせて一元的に管理できます。
- 定義済みのテンプレートが標準提供されているので、すぐに監視を始められます。また、クイックガイド画面で表示された説明文を参照することで、実運用に合わせた警告条件や異常条件などの設定変更も簡単にできます。
- エージェント監視とエージェントレス監視を混在させた運用が可能です。対象となるサーバの重要度に応じて使い分けられます。

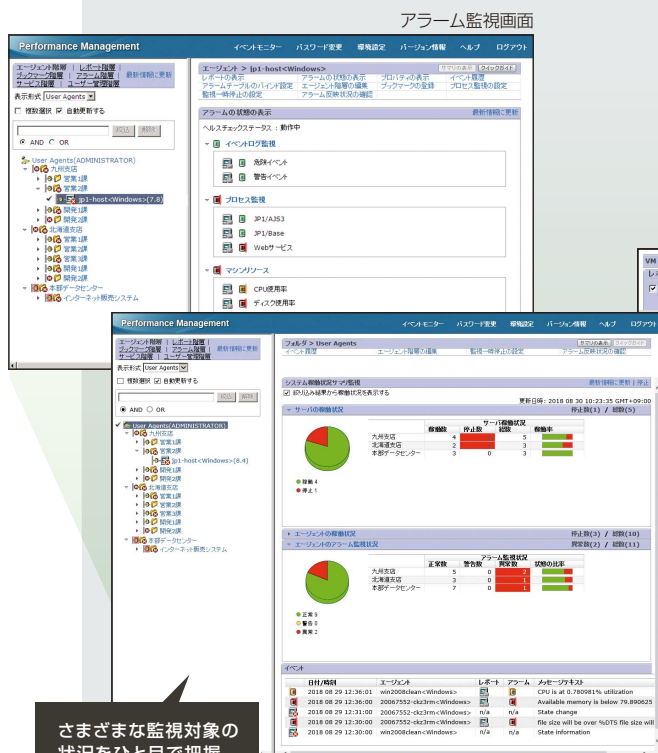
レポート画面(仮想マシンのCPU使用量)



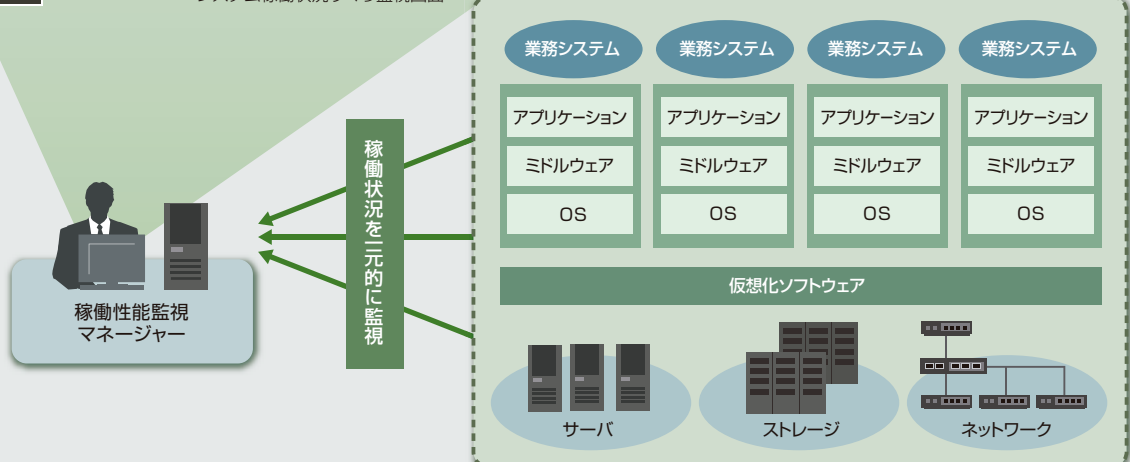
原因究明・キャパシティプランニングに 役立つレポート画面



レポート画面(仮想マシンのディスク使用率)



システム稼働状況サマリ監視画面



JP1/Network Node Manager i JP1/SNMP System Observer

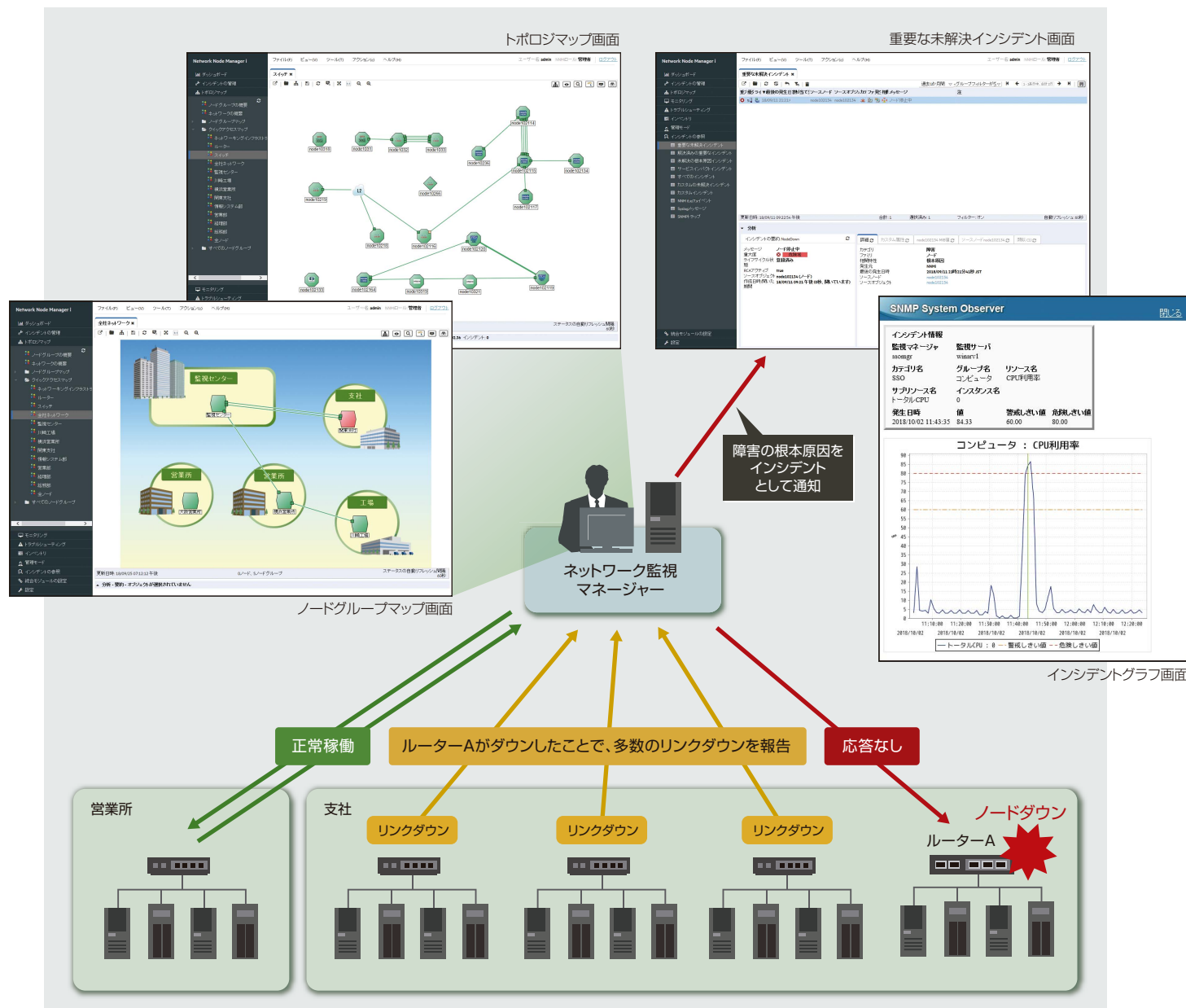
ネットワークの集中管理と迅速な障害対応を実現したい

JP1/Network Node Manager iは、業界標準のSNMPを採用し、ネットワーク全体をビジュアルなマップで集中管理できる製品です。ネットワーク上のノードを検出し、自動的に最新のネットワーク構成図(トポロジマップ)を作成します。管理対象を示すシンボルの色が状態の変化に伴って変化するので、問題が発生してもすぐに把握できます。障害発生時には、根本原因解析機能(RCA)により、検知した障害事象の中から対処すべき重要なインシデントだけに絞り込んで管理者に通知されるため、障害対応を迅速に行うことができます。さらに、システムリソースや、アプリケーションのプロセスを監視するJP1/SNMP System Observerと連携すると、ネットワーク構成と障害発生状況に加えて、システムリソース、プロセスやサービスの状態もシームレスに確認できます。

RCA: Root Cause Analysis

導入効果

- ネットワーク構成が変わってもトポロジマップが自動的に作成されるので、手間をかけずに最新の構成を把握できます。
- トポロジマップにネットワーク機器同士の接続関係が表示されるため、障害などの影響範囲を直感的に把握できます。
- 障害発生時には、根本原因だけがインシデントとして通知されるため、障害対策を迅速化でき、ネットワークのダウンタイムを短縮できます。
- 収集したリソース情報をもとに、拠点ごとやネットワーク機器ごとのレポートを作成できるため、システムの定期的な評価や見直し計画の立案に役立ちます。



JP1/Automatic Job Management System 3

多様化する業務を自動化し、業務全体の効率化と安定稼働を図りたい

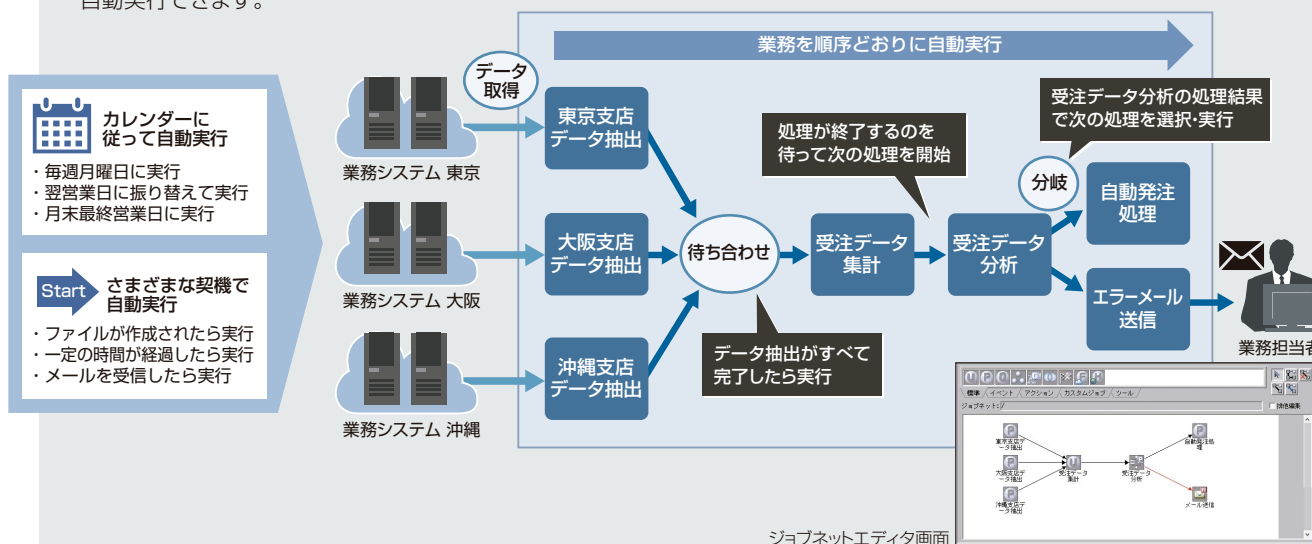
JP1/Automatic Job Management System 3は、複数のクラウドサービスやオンプレミスで行う業務の実行を制御し、大規模で複雑なシステムで行う業務全体の自動化による効率化と安定稼働を実現する製品です。複数の業務を連携するための実行制御や企業カレンダーに合わせた業務の実行、業務の実行状況の可視化など、業務の運用効率化と安定稼働を実現するために必要な機能を標準的に装備し、クラウドサービスやオンプレミスで行う業務全体の自動化を効率よく実現できます。

導入効果

- 複雑に連携するシステム間の業務の実行順序を制御して、業務全体の自動実行を制御できるため、業務全体の効率化が図れます。
- 企業カレンダーや実際の業務のさまざまな実行契機に対応して業務を自動実行できるため、多様な業務を自動化できるようになります。
- 業務が問題なく進んでいるか、全体の概況を直感的に確認でき、問題発生時には再実行や実行中止などの対処を迅速に行えるため、業務の停止を最小限におさえることができます。

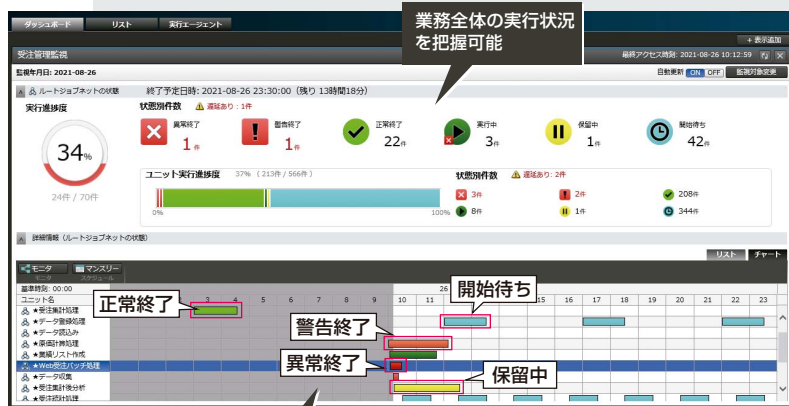
実行順序を制御して業務全体の自動実行を実現

複雑に連携する一連の業務の流れや実行順序を可視化でき、可視化した順序どおりに実行を制御できます。可視化した業務は、企業の営業日・休業日を定めたカレンダーやさまざまな条件によって実行開始を制御できるため、実際の業務に合わせたタイミングで自動実行できます。



業務の実行状況をすばやく把握し適切に対処

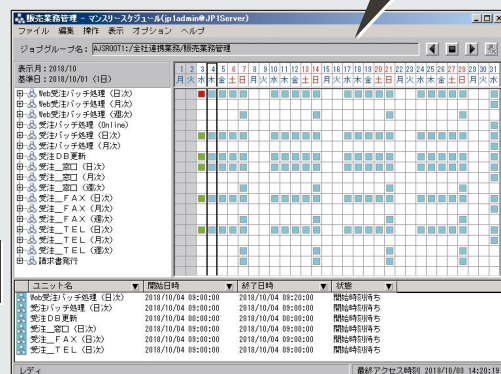
業務の実行状況、問題発生時の影響確認や予実績の確認など、業務全体の実行状況を直感的に把握できます。業務が異常終了した場合には、問題を解決したあとで、業務が停止したところから再実行するなど、必要な対処を迅速に行えます。



状態を表すアイコンの凡例

- ✖ : 異常終了
- ▶ : 実行中
- ⚠ : 警告終了
- ⏸ : 保留中
- ✔ : 正常終了
- ⌚ : 開始待ち

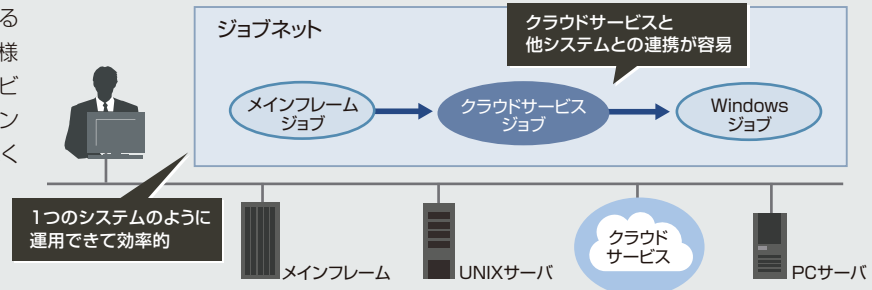
業務ごとに月単位の予定と実績を確認可能



JP1/Automatic Job Management System 3

クラウドサービスとオンプレミスで行う業務を連携して自動化

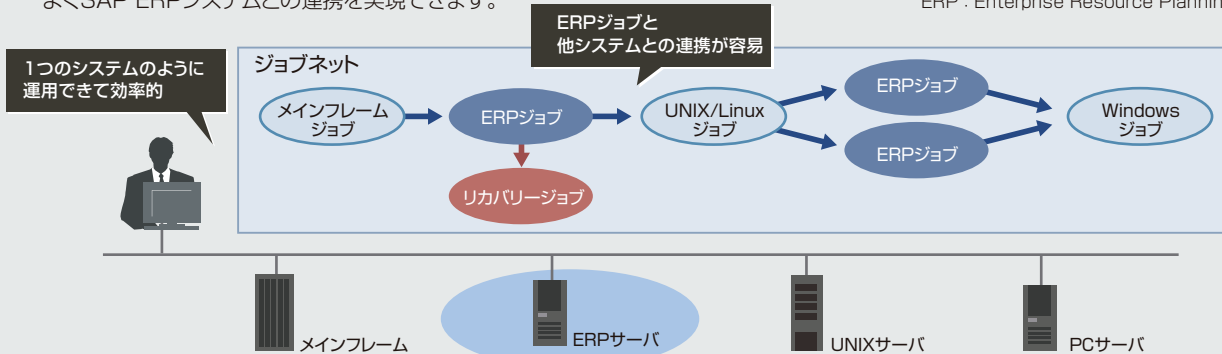
ジョブの1つとしてクラウド上で実行するサービスを定義でき、他のジョブと同様に実行、監視ができます。クラウドサービスとの連携が容易になり、クラウド、オンプレミス環境で連携する業務も効率よく行えます。



SAP ERPシステムで実行する業務の自動化

ジョブの1つとしてSAP ERPジョブを定義でき、他のジョブと同様に実行、監視ができます。他システムとの連携が容易になり、1つのシステムのように運用できます。SAP ERPジョブを定義する際は、SAP ERPで定義済みのジョブをコピーして利用できるため、効率よくSAP ERPシステムとの連携を実現できます。

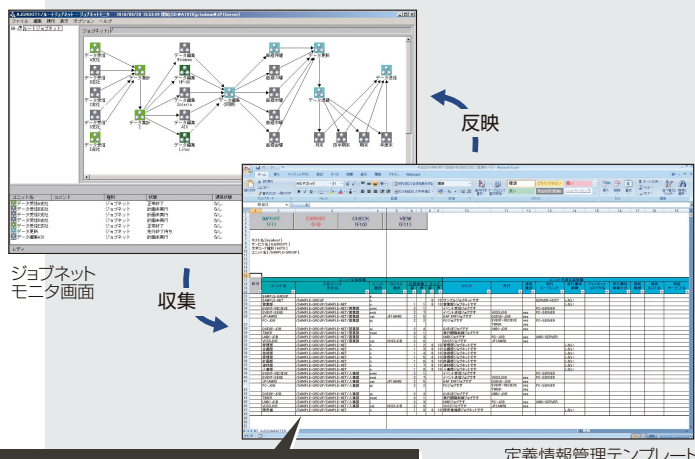
ERP : Enterprise Resource Planning



業務運用のさらなる効率化

ジョブ定義情報の一括収集・反映

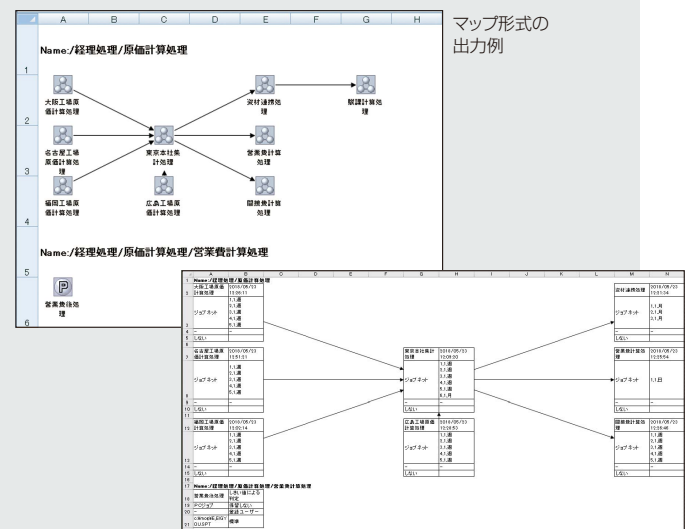
ジョブ定義情報の収集・変更・反映といったジョブ変更時の一連の作業は、Microsoft Excelの検索や一括置換などを利用することで、効率よく行えます。たとえば、開発サーバ用のサーバ名などの定義情報をMicrosoft Excelで本番サーバ用に変更したあと、本番環境に一括で反映するときなどに効果を発揮します。



Microsoft Excelの検索や一括置換などを利用することでジョブ定義情報の変更作業を効率よく実施

画面上の業務運用情報を報告書に活用

画面に表示される定義情報や予実績情報を出力して紙面で確認したり、報告資料として活用できます。出力時のファイル形式も、CSV、Microsoft Excel、PDFと用途に応じて選択できます。



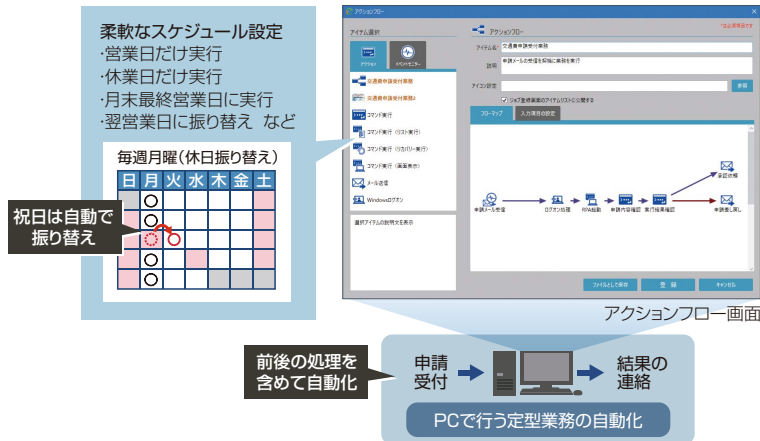
フロー形式の出力例

JP1/Client Process Automation

RPAの利用も含めた一連の業務プロセスを自動化したい

JP1/Client Process Automationは、RPA製品が実行する業務を含め、PCで行う定型業務の実行スケジュールや実行順序を制御する製品です。RPA製品で行う業務や、表計算ソフトを使った手作業でのデータ集計、ファイルやメールの送受信など、PCで行う定型業務を、事前の準備作業や後処理と合わせて一連の業務として自動化できます。営業日や休業日に合わせたり、翌営業日に振り替えて実行するなどの柔軟なスケジュールでの自動化が可能です。RPA製品ごとに異なるスケジュール設定や実行状況の監視を、統一したインターフェースで行えるため、業務の管理も容易になります。また、JP1/Automatic Job Management System 3と連携することで、PCで行う定型業務や複数の異なるRPA製品で行う業務と基幹業務をつなぎ、業務システム全体としての自動化と一元管理を実現できます。

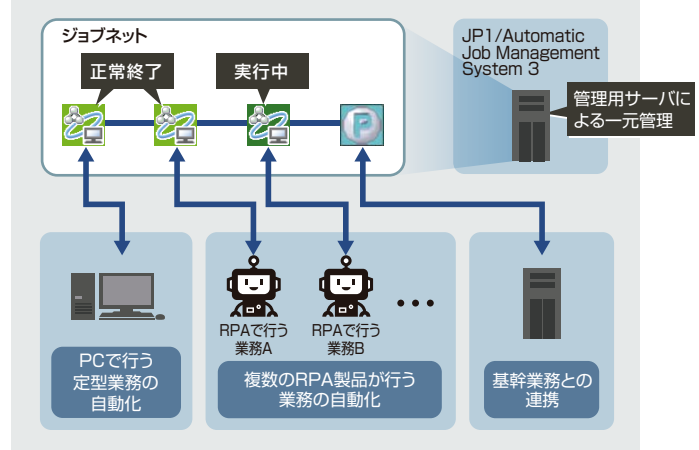
RPA:Robotic Process Automation



導入効果

- RPA製品で行う業務も含め、PCで行う一連の業務プロセスを柔軟なスケジュールで標準化・自動化できるので、業務の品質向上と効率化が図れます。
- JP1/Automatic Job Management System 3と連携することで、複数の異なるRPA製品で行う業務の順序性を踏まえて、実行順序の制御や自動化ができるので、業務全体としての効率向上が図れます。
- JP1/Automatic Job Management System 3での一元管理により、PCで行う定型業務や基幹業務を含めた業務全体の進捗状況の把握や問題箇所の特定ができるため、全社レベルでの業務効率向上や業務改善に役立てることができます。

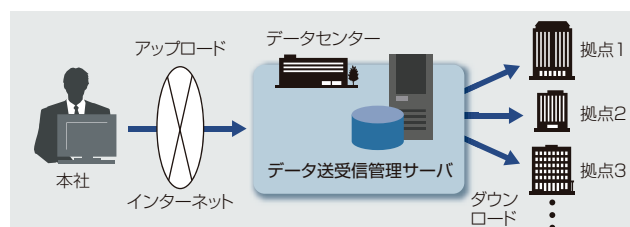
JP1/Automatic Job Management System 3と連携した場合の運用例



JP1/Data Highway

大容量のファイルを簡単・安全に転送したい

JP1/Data Highwayは、大容量のファイルをインターネット経由で高速かつセキュアに転送する製品です。動画データやバックアップデータといったギガバイト規模の大容量ファイルを分割しないで転送できます。宛先の制御や通信経路の暗号化(HTTPS)による盗聴防止など、ファイル転送時の安全性を確保し、さらに、承認者の許可がないファイル転送を行えないようにすることで、誤送信や不正な転送も防止します。専用線の敷設や専用のハードウェアが不要なため、短時間・低コストで導入できます。



導入効果

- 通信経路を暗号化(HTTPS)し、インターネット経由でファイルを送信できるため、CDやDVDなどの記録媒体を輸送する場合に比べて紛失や盗難などのリスクがなく、時間も短縮できます。
- 大容量のファイルでも、メールに添付して送付するときのように分割する必要はありません。転送が失敗した場合は、失敗した部分のデータだけが自動的に再送されるため、転送結果を確認して再送信する必要がありません。
- JP1/Automatic Job Management System 3と連携して、スケジュールに沿ったファイル転送やファイル受信などのイベントを契機にした転送を自動化でき、転送漏れの防止と運用負荷の軽減を実現できます。

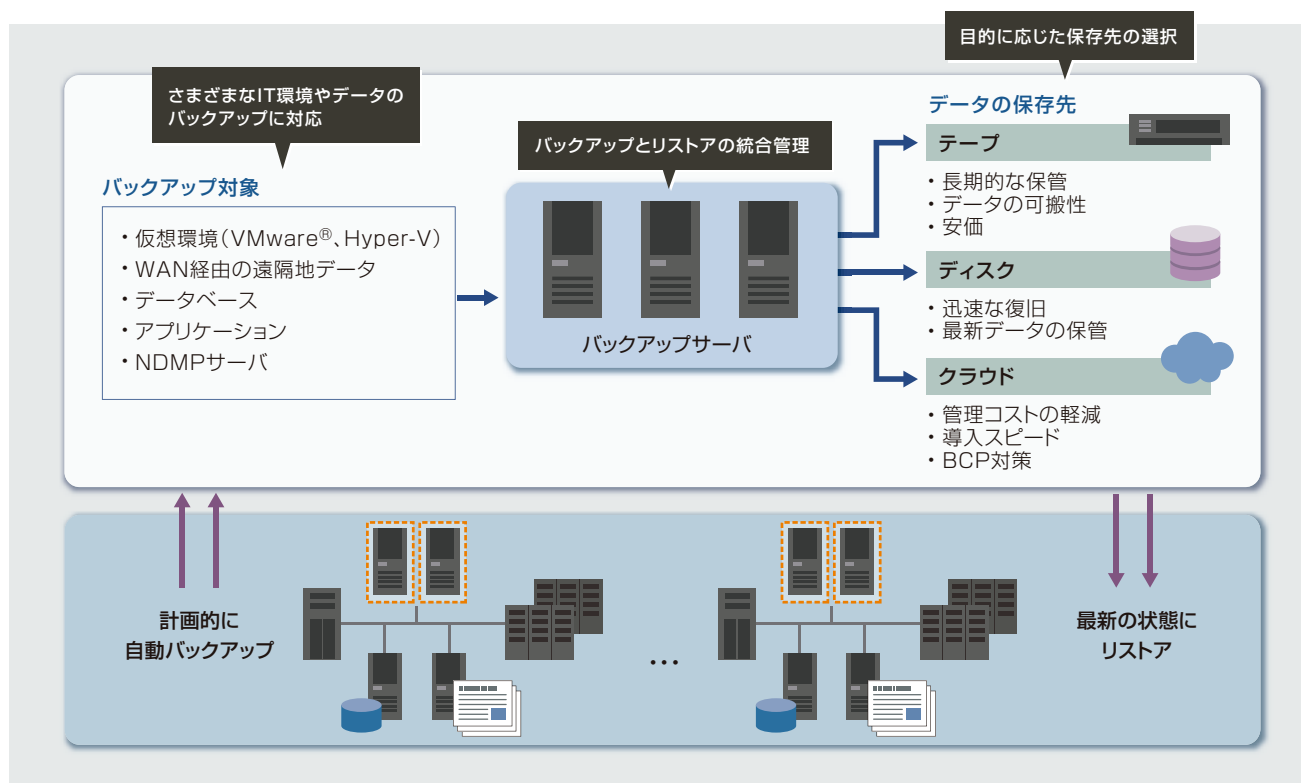
JP1/VERITAS NetBackup 日本限定販売

多様化するシステムを統合的にバックアップし、データを守りたい

JP1/VERITAS NetBackupは、Windows、Linux、UNIXなどのマルチプラットフォームに対応し、仮想環境、データベース、アプリケーションなど幅広い範囲をカバーした統合バックアップを実現する製品です。バックアップの実行から、テープ、ディスクストレージ、クラウドストレージへの保存まで、一連の作業をスケジュール設定して自動化できるので、人為的な作業ミスや作業漏れを防ぎ、確実にバックアップできます。また、セグメント単位で変更があったデータだけをバックアップの対象とする重複排除方式により、バックアップデータの増加を抑制し、バックアップ時間の短縮やネットワークの負荷の低減もできます。さらに、バックアップデータを自動複製して遠隔地に保管することで、万一、広範囲に影響が及ぶ障害や災害などが発生しても、バックアップデータを利用して業務を再開することが可能となります。

導入効果

- データベースをオンラインでバックアップできるので、業務やサービスを止めないバックアップ運用が可能です。
- 変更したデータだけを効率的にバックアップできるので、バックアップサーバに保管するデータ量の増加を抑制できます。また、バックアップにかかる時間やネットワークの負荷を少なくする効果も見込めます。
- 重要度の高いデータや復旧の至急度が高いデータを遠隔地やクラウド上に同時に自動複製できるため、メインサイトのバックアップデータが破損・消失しても、リモートサイトに切り替えての業務継続や、リモートサイトやクラウド上のバックアップデータを利用した早期復旧が可能となります。



JP1/VERITAS Backup Exec 日本限定販売

WindowsやLinux環境のバックアップを簡単な操作で実現したい

JP1/VERITAS Backup Execは、WindowsやLinux環境のバックアップ運用を一元管理する製品です。JP1/VERITAS NetBackupと同様、幅広い対象をテープやディスクストレージなどの保存先へ計画的かつ自動的にバックアップできます。使いやすいインターフェースのため、小規模環境のバックアップ運用を簡単に行えます。

導入効果

- WindowsまたはLinux環境のみで、物理・仮想環境が5台から10台程度の小規模なシステムのバックアップ運用を低コストで実現できます。

JP1/IT Desktop Management 2

IT資産を適切に管理し、セキュリティリスクから守りたい

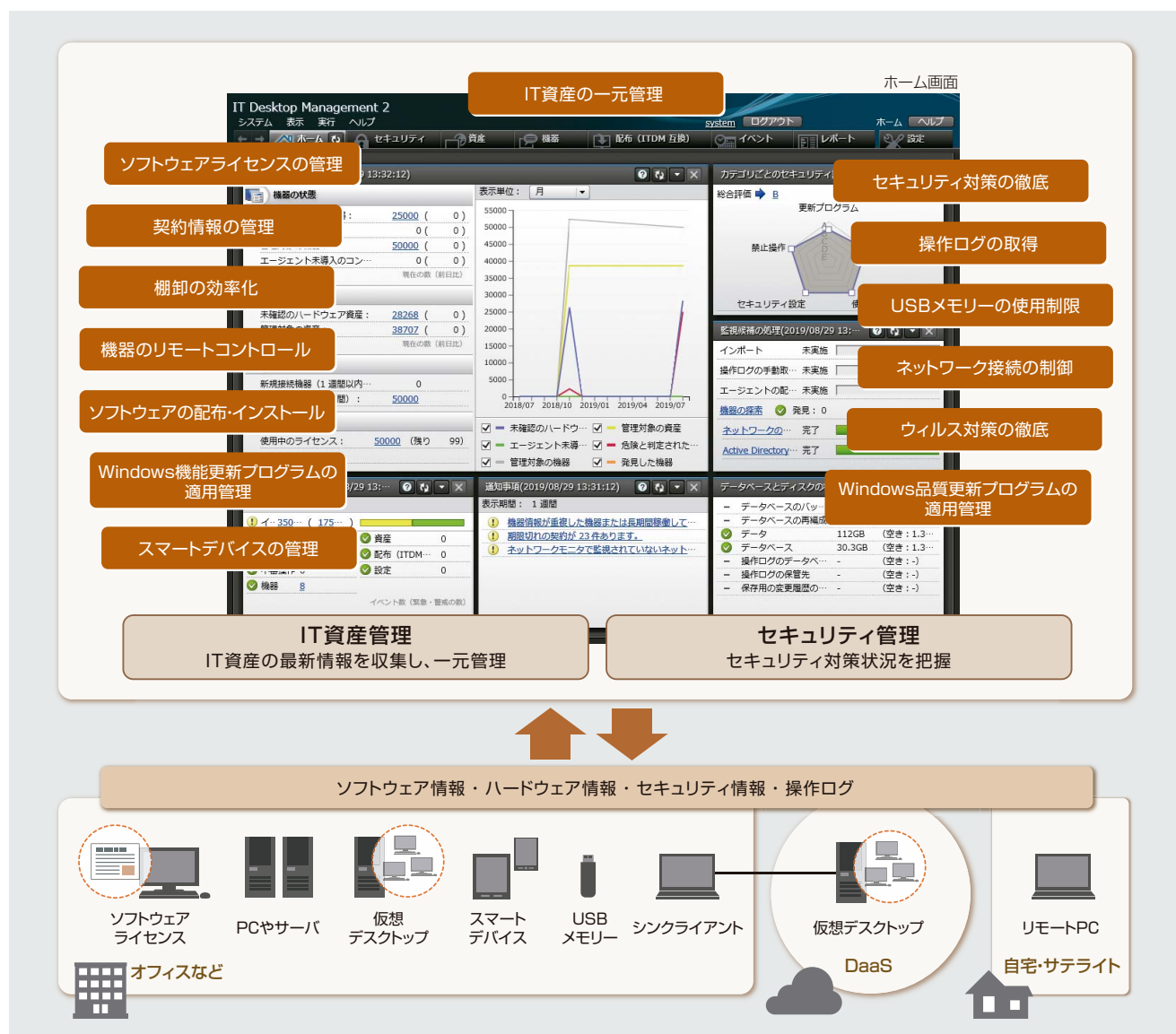
JP1/IT Desktop Management 2は、PCやサーバ、仮想デスクトップ、シンククライアント、スマートデバイスなど、多様化するIT環境のソフトウェア情報、ハードウェア情報、セキュリティ情報、操作ログなどを自動収集し、一元管理する製品です。多様な働き方を支えるVDI・DaaS環境の仮想デスクトップや、リモート接続しているPCも管理できます。自動収集した情報と、資産台帳や契約情報などの登録情報の関連付けが容易にできるため、IT資産の管理や棚卸、ソフトウェアのライセンスや契約情報の管理を効率化できます。また、IT環境の脆弱性を日々チェックして、セキュリティポリシーに従って対処できるほか、利用者の操作ログから情報を持ち出す操作を検出することも可能です。さらに、ネットワークに負荷をかけない大容量データ配布、ソフトウェアの事前配布、インストール条件の事前チェックなど、きめ細やかな制御により、大規模システムへのソフトウェアの一斉適用を可能にします。

VDI: Virtual Desktop Infrastructure
DaaS: Desktop as a Service

導入効果

- IT資産の棚卸の効率化、ライセンス過不足の迅速な把握、適切なタイミングでの契約更新に役立ちます。
- 日常的にセキュリティ対策を徹底することで、セキュリティリスクを軽減できます。
- 操作ログを取得することで、データのコピーや移動などの経緯がわかるため、情報漏えいリスクのある操作を把握できます。
- ソフトウェアのバージョンアップやアップデート、更新プログラムやパッチの適用を計画的・効率に行えます。
- テレワークやクラウド活用などで多様化するIT環境の現状把握や日々のセキュリティ対策の徹底にも役立ちます。
- 操作ログからIT環境の利用開始・終了時刻や、利用しているアプリケーションがわかるため、労働時間や労働実態の把握に活用することも可能です*。

*JP1テクニカルサービスで、労働時間や労働実態を効率的に把握できるよう支援します。



JP1/秘文 日本限定販売

情報漏えいを未然に防ぐセキュリティ対策で、安全に情報を利用したい

JP1/秘文は、情報の不正な持ち出しや、人的ミスによる情報漏えいを未然に防ぎ、安全な方法で情報を利用するためのセキュリティ対策製品です。社内にある機密情報の不正な持ち出しや、組織内外の関係者間での情報共有時に起こりうる情報流出を「出さない」「見せない」「放さない」の3つの視点で対策することで、さまざまな情報漏えいリスクを見据えた着実なセキュリティ対策を実現できます。利用者の判断に任せない管理者主導のセキュリティ対策が可能なため、不正利用を意図した情報漏えいを回避するだけでなく、データの送受信や組織外へのデータの持ち出しなど、さまざまな業務で起こりうる過失的な情報漏えいのリスクも低減できます。

導入効果

- データ持ち出し時のデバイスやネットワークを制御し、不正な持ち出しを防止できます。また、持ち出す操作をログに残せるので、ログ管理を周知することで不正行為の事前抑止にもなります。
- ドライブ、メディア、ファイルを暗号化できるので、万一情報が流出しても、第三者に内容を読み取られる心配がありません。
- 安全性を確認できないプログラムが、機密データやディスク管理領域へアクセスすることを禁止できるので、ランサムウェアなどのマルウェアから社内の重要データを守れます。
- 情報共有を目的としたファイルは参照以外の操作を禁止し、渡したあとでも必要に応じて閲覧を停止できるので、情報の拡散を防止できます。

出さない

デバイス制御



漏えいしてはいけない情報を、社外に「出さない」

スマートフォンやUSBメモリーなどのデバイスの利用をコントロール。機密情報が社外に出ることを防ぎます。

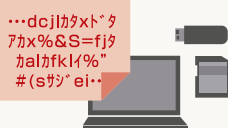
デバイス制御

ネットワーク制御

ログ取得・管理

見せない

暗号化



情報が社外に出ても、中身を「見せない」

PCや記録メディア、ファイルサーバのデータを暗号化。第三者に情報の中身を見せません。

ドライブ・メディア暗号化

ファイルサーバ暗号化

ファイル保護

放さない

閲覧停止



情報を社外に渡しても、手を「放さない」

ファイルの閲覧停止 (IRM) で、相手に渡した情報の不正利用や流出・拡散を防止します。

IRM

不正流出対策

予兆検知・可視化

IRM: Information Rights Management

製品一覧

Intelligence

統合管理		
統合オペレーション	JP1/Integrated Management 2 - Manager	システムで発生する事象(イベント)やシステムに関わるさまざまなデータと、その関連性を統合管理し、利用者に応じた情報の提供・活用を支援する製品です。立場や役割が異なる利用者が、情報のありかや入手のインタフェース、データの構成や関連性を意識することなく、必要な情報を容易に確認できます。
	JP1/Integrated Management 2 - Event Gateway for Network Node Manager i	ネットワークノードマネージャーJP1/Network Node Manager iが発行するインシデントをJP1/Integrated Management 2 - Managerで監視できるイベントに変換する製品です。
通報管理	JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 Users* JP1/TELstaff AE Professional Edition 1000 Users* JP1/TELstaff AE Professional Edition 2000 Users*	システム運用中に発生した障害や問題を、さまざまな通知手段でリアルタイムに通知する製品です。パトロールランプ、電話、メールのほかデスクトップでのメッセージ、館内放送など、受け手に合わせた通知手段で担当者に異常を伝えます。通知先ユーザー数に応じた複数のラインアップがあります。
	JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 to 1000 Users Upgrade License* JP1/TELstaff AE Professional Edition 1000 to 2000 Users Upgrade License*	JP1/TELstaff AE Professional Editionの通知先ユーザー数を増やすためのアップグレードライセンス製品です。
JP1管理基盤	JP1/Base	統合管理システムやジョブ管理システムの基盤となり、エージェント機能を提供する製品です。JP1イベントの送受信、JP1ユーザーの管理、サービスの起動を制御できます。
ITサービス管理		
ITプロセス管理	JP1/Service Support	利用者からの問い合わせやシステムで発生した障害などの案件について、解決するまでの状況把握を可能にし、案件の一元管理を実現する製品です。案件ごとの対応状況・進捗状況などを画面上でひと目で把握でき、チーム全体で共有できます。
	JP1/Service Support Starter Edition	JP1/Service Supportの小規模運用向けの製品です。JP1/Service Supportと同じ機能を使用できます。
	JP1/Service Support Starter to Standard Upgrade License	JP1/Service Support Starter EditionからJP1/Service Supportへアップグレードするためのライセンス製品です。
IT運用自動化		
運用自動化	JP1/Automatic Operation	システムにおける日々のIT運用を自動化する製品です。サーバの稼働状況の確認やサーバの起動・停止・再起動といった日々の業務、仮想マシンの追加・削除や、障害発生時の復旧業務といった不定期に発生する業務など、複雑な作業や時間を要する作業も含めてさまざまなIT運用を自動化できるため、作業時間の短縮と効率向上を図れます。
	JP1/Automatic Operation Content Pack	クラウド、データセンター、企業内システムなどで実施されている典型的な運用の手順をテンプレート化したJP1/Automatic Operationのコンテンツ製品です。コンテンツを利用することで短期間での導入が可能となります。
運用ナビゲーション	JP1/Navigation Platform	日々行う業務の作業手順を可視化・共有化し、担当者が的確に効率よく作業を遂行できるようナビゲートする製品です。運用手順の流れを示すフローチャートと、各ステップの作業内容を文章や図で説明するガイドンスを参照することで、作業を確実に実施できます。
	JP1/Navigation Platform for Developers	JP1/Navigation Platformのシステム連携プログラム(プラグイン)を開発・テストする製品です。プラグインを使うと、他システムの情報を画面に表示したり、画面に沿って実施した作業結果を他システムに登録したりできます。
作業プロセス可視化	JP1/IT Process Operations*	ITシステムの運用業務における作業内容や作業時間などを簡単に記録する製品です。記録内容を簡易手順書として活用できるだけでなく、作業実績を集計・可視化することで、作業プロセス改善や業務配分の適正化、業務効率向上のための作業手順の標準化・自動化に活用できます。
	JP1/IT Process Operations for RPA*	RPAロボット開発の設計・開発に必要なPCの操作内容や作業の流れを把握するためのマウス・キーボード操作や画面遷移を簡単に記録する製品です。RPA導入前の情報収集やRPA導入後の効果検証に活用できます。

* 日本限定販売

Intelligent Monitoring

インフラストラクチャ管理		
運用分析基盤	JP1/Operations Analytics	仮想環境やクラウドの利用によって複雑化するIT基盤の運用作業を改善し、効率向上を支援する製品です。各業務システムで利用している仮想マシンやコンテナ、サーバ、スイッチ、ストレージなどのIT基盤の構成情報を自動収集し、アプリケーションと関連付けて可視化できます。
パフォーマンス管理		
稼働性能管理	JP1/Performance Management - Manager	OS、データベース、各種アプリケーション、仮想環境など、さまざまな監視対象から稼働情報を収集し、パフォーマンス低下の事前検知や、チューニングに役立つレポート出力などにより、システムの安定稼働を支援する製品です。
	JP1/Performance Management - Remote Monitor for Platform	OSの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるOSをリモートで監視できます。
	JP1/Performance Management - Remote Monitor for Virtual Machine	仮想環境(ハイパーバイザー)の稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数の物理サーバ上にある仮想環境をリモートで監視できます。
	JP1/Performance Management - Remote Monitor for Oracle	Oracleデータベースの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるデータベースをリモートで監視できます。

■ Intelligent Monitoring

パフォーマンス管理		
稼働性能管理	JP1/Performance Management - Remote Monitor for Microsoft® SQL Server	Microsoft SQL Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるデータベースをリモートで監視できます。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Platform	OSの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle	Oracleデータベースの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft® SQL Server	Microsoft SQL Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
	JP1/Performance Management - Agent Option for HiRDB	HiRDBの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Enterprise Applications	SAPシステムの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft® Internet Information Server*	Microsoft Internet Information Servicesの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft® Exchange Server*	Microsoft Exchange Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
	JP1/Performance Management - Agent Option for Transaction System*	uCosminexus OpenTP1の稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
ネットワーク管理		
ネットワーク ノード マネージャー	JP1/Network Node Manager i	業界標準のSNMPを採用し、ネットワーク全体をビジュアルなマップで集中管理できる製品です。ネットワーク上のノードを検出し、自動的に最新のネットワーク構成図(トポロジマップ)を作成します。
	JP1/Network Node Manager i Advanced	JP1/Network Node Manager iの上位製品で、ネットワークのパフォーマンスや可用性・信頼性を確保するためのルーター冗長化(RRG:Router Redundancy Group)やリンクアグリゲーションなどの技術にも対応しています。
	JP1/Network Node Manager i to Advanced Upgrade License	JP1/Network Node Manager iからJP1/Network Node Manager i Advancedへアップグレードするためのライセンス製品です。
	JP1/Network Node Manager i Developer's Toolkit	JP1/Network Node Manager iやJP1/Network Node Manager i Advancedと連携するアプリケーションを開発するためのツールキットを提供する製品です。
システムリソース/ プロセス リソース管理	JP1/SNMP System Observer	ネットワーク上のサーバのシステムリソース(稼働・統計情報)を定期的に収集・保存したり、プロセス・サービスの稼働状態を定期的に監視したりする製品です。設定したしきい値を超えたり、サーバ上のプロセスの停止やサービスの動作状態の変更を検知した場合に、イベントを発行して管理者に知らせます。
	JP1/Extensible SNMP Agent for Windows	業界標準のSNMPを使用して、JP1/Network Node Manager iとの間でMIB情報を交換するためのSNMPエージェント製品(Windows用)です。
	JP1/Extensible SNMP Agent	業界標準のSNMPを使用して、JP1/Network Node Manager iとの間でMIB情報を交換するためのSNMPエージェント製品(Linux/UNIX用)です。
	JP1/SNMP System Observer - Agent for Process	サーバシステムで動作するプロセス・サービスの状態を定期的に監視するプロセス・サービス監視エージェント製品です。JP1/SNMP System Observerで設定された監視条件に従ってプロセス・サービスを監視し、プロセス・サービスの状態をJP1/SNMP System Observerに通知します。
機器管理	JP1/Network Element Manager for Cisco*	CiscoルーターやCiscoスイッチを、リアリティのあるパネル監視画面を使って監視するための製品です。
	JP1/Network Element Manager for AX Series*	アラクサラネットワークス株式会社AXシリーズの機器を、リアリティのあるパネル監視画面を使って監視するための製品です。

* 日本限定販売

■ Intelligent Automation

ジョブ管理		
ジョブ スケジューラー	JP1/Automatic Job Management System 3 - View	JP1/Automatic Job Management System 3のビューア製品です。業務の関係や実行順序を定義したり、実行状況を確認できます。視認性、そして運用効率のよいインタフェースと、豊富なカスタマイズ機能により、使いやすい画面操作で業務の集中監視ができます。
	JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager	JP1/Automatic Job Management System 3のマネージャー製品です。クラウドサービスやオンプレミスで行う業務の実行を制御し、大規模で複雑なシステムで行う業務全体の自動化による効率化と安定稼働を実現します。
	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent	JP1/Automatic Job Management System 3のエージェント製品です。マネージャーから受けた指示に従って業務を実行します。

■ Intelligent Automation

ジョブ管理		
ジョブ スケジューラー	JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent Minimal Edition	JP1/Automatic Job Management System 3の小規模業務(Webサーバの起動・停止、ファイルのバックアップ、ログ退避など)向けのエージェント製品です。マネージャーから受けた指示に従って業務を実行します。
	JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant	ジョブ定義情報の収集・変更・反映といったジョブ変更時の一連の作業を、Microsoft Excelの検索や一括置換などを利用することで効率よく行うための製品です。開発サーバから本番サーバへの切り替え時のサーバ名の変更や、複数のシステムにジョブを適用するときなどに効果を発揮します。
ERP連携	JP1/Automatic Job Management System 3 for Enterprise Applications	SAP ERPシステムで実行する業務を制御するための製品です。JP1/Automatic Job Management System 3 - ManagerからSAP ERPシステムの業務を自動実行できます。
クライアント 業務自動化	JP1/Client Process Automation	RPA製品が実行する業務を含め、PCで行う定型業務の実行スケジュールや実行順序を制御する製品です。カレンダーで設定した営業日に業務を実行したり、ファイル受信を契機として業務を開始したりするなど、業務の実行をきめ細かく制御できます。
	JP1/Client Process Automation Option for Automatic Job Management System 3	JP1/Client Process Automationが実行する複数の業務の実行順序や実行状況をJP1/Automatic Job Management System 3 - Managerから一元管理するための製品です。
電源管理	JP1/Power Monitor*	サーバ装置の電源のON/OFFを制御するための製品です。サーバを自動的に起動、終了したり、カレンダー機能によって計画的にサーバの電源をON/OFFしたりできます。また、離れた場所にあるサーバを自動的に起動、終了する、各サーバの業務の終了を待ってからシステムを停止またはレポートするなど可能です。
スクリプト言語	JP1/Script	Windows上でスクリプト言語を使って簡単にバッチジョブを作成するための製品です。if文、while文、DeleteFileコマンドなど、Windows上で実行できる130種類以上のコマンドを提供しています。
	JP1/Script - Access License	JP1/Scriptをリモートデスクトップサービスクライアントで使用する場合に必要なライセンス製品です。
ファイル転送	JP1/File Transmission Server / FTP	高信頼、高効率機能を備えたファイル伝送製品です。送信側と受信側で伝送されたファイルサイズを自動確認し、不正があれば警告したり、伝送履歴を取得したりできます。
高速大容量 ファイル転送	JP1/Data Highway - Server	大容量のファイルをインターネット経由で高速かつセキュアに転送する製品です。動画データやバックアップデータといったギガバイト規模の大容量ファイルも分割しないで転送できます。
	JP1/Data Highway - Server Starter Edition	JP1/Data Highway - Serverの小規模運用向けの製品です。JP1/Data Highway - Serverと同じ機能を使用できます。
	JP1/Data Highway - Server Starter to Standard Upgrade	JP1/Data Highway - Server Starter EditionからJP1/Data Highway - Serverへアップグレードするためのライセンス製品です。
バックアップ管理		
バックアップ管理 (マルチ プラットフォーム 環境向け)	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Media*	JP1/VERITAS NetBackup 9.1のメディアキットです。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Enterprise Server*	複数のバックアップサーバ(マスタサーバおよびメディアサーバ)を使用して、マルチプラットフォーム、またはマルチベンダーデバイス環境を統合的にバックアップ管理する製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Server*	1台のバックアップサーバを使用し、マルチプラットフォーム環境、またはマルチベンダーデバイス環境をバックアップ管理する製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Drive Option (Library Based Tape Drive Support)*	テープライブラリ装置、チェンジャー、オートローダなどのロボット制御下にあるテープドライブを使用するための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Drive Option (Shared Storage Option)*	同一バックアップシステム内にあるバックアップサーバで、テープライブラリ装置中のテープドライブを共有して使用するための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Standard Client Option*	ネットワーク経由でデータをバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Enterprise Client Option*	ネットワーク経由でデータをバックアップ・リストアするためのクライアント製品です。仮想環境(設定情報など)のバックアップ・リストアなど、高度なバックアップ運用を実現します。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Database Pack*	Oracle、Microsoft SQL Server、またはExchange Serverのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Agent for HiRDB License*	HiRDBのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 SAP Agent*	SAP DBA管理インタフェースと連携してSAPのデータベースをバックアップ・リストアするための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Option (Data Protection Optimization 1TB) Special Edition*	バックアップデータをセグメント単位で管理し、重複しているデータを排除してバックアップデータを効率よく保存する重複排除機能などを使用する場合に、バックアップ対象データ容量1TBごとに必要な製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 NDMP Option*	NDMPサーバをバックアップ・リストア対象にするための製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Starter Pack (5 Client)*	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Server、JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Drive Option(Library Based Tape Drive Support)、JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Standard Client Optionがパッケージになった製品です。
	JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Platform Base*	フロントエンドデータ(バックアップ対象データ)容量を1TBまでバックアップ管理できる製品です。JP1/VERITAS NetBackup 9.1 Agent for HiRDB Licenseを除き、JP1/VERITAS NetBackup 9.1のすべての機能を使用できます。

* 日本限定販売

[INDEXへ戻る](#)

■ Intelligent Automation

バックアップ管理		
バックアップ管理 (Windows 環境向け)	JP1/VERITAS Backup Exec 21*	1台のバックアップサーバ(メディアサーバ)を使用して、Windows環境またはLinux環境のデータをバックアップ管理する小規模システム向けの製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Enterprise Server Option*	メディアサーバで、フルバックアップと増分バックアップから完全バックアップを合成したり、効率的にリストアを行うなどの高度なバックアップ運用を実現するために必要なオプションを使用するための製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Agent for Windows Systems*	ネットワーク経由でWindows環境のデータをバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Agent for Linux Systems*	ネットワーク経由でLinux環境のデータ(ユーザーデータのみ)をバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Agent for VMware and Hyper-V*	VMware ESXi環境のvStorage APIs for DataProtection連携、Microsoft Hyper-V環境のVHDやVHDXファイル、Hyper-V固有の環境(設定情報など)をバックアップ・リストアするための製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Agent for Applications and Databases*	Oracle、Microsoft SQL Server、またはExchange Serverのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Library Expansion Option*	2テープドライブ以上のロボットタイプテープ装置(ライブラリ、チェンジャー、オートローダ、仮想テープライブラリ(VTL)など)を使用するための製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 VTL Unlimited Drive Option*	2テープドライブ以上の仮想テープライブラリ(VTL)を使用するための製品です。仮想テープライブラリごとの適用で、仮想テープドライブ数を無制限で使用できます。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Deduplication Option*	メディアサーバでバックアップデータをセグメント単位で管理し、重複しているデータを排除してバックアップデータを効率よく保存するための製品です。
	JP1/VERITAS Backup Exec 21 Media*	JP1/VERITAS Backup Exec 21のメディアキットです。

* 日本限定販売

■ Intelligent Governance

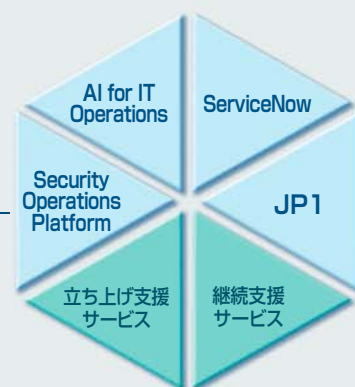
資産・配布管理		
IT資産・配布管理	JP1/IT Desktop Management 2 - Manager	WindowsやMac OSなどのPCやサーバ、仮想デスクトップ、シンクライアント、スマートデバイスといった、多様化するIT環境のソフトウェア情報、ハードウェア情報、セキュリティ情報、操作ログなどを自動収集し、一元管理する製品です。
	JP1/IT Desktop Management 2 - Additional License for Linux	LinuxのPCやサーバを管理対象とするときのJP1/IT Desktop Management 2 - Managerのエージェント製品です。
	JP1/IT Desktop Management 2 - Additional License for UNIX	UNIXのPCやサーバを管理対象とするときのJP1/IT Desktop Management 2 - Managerのエージェント製品です。
	JP1/IT Desktop Management 2 - Smart Device Manager	スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスをPCやサーバと一緒に管理するための製品です。リモート操作(ロック、ワイプ)、アプリケーションの配布やルール違反の検知など、スマートデバイスに対する管理機能を提供します。
	JP1/IT Desktop Management 2 - Operations Director*	100台から300台程度の規模で、WindowsやMac OSのPC管理をしたいお客さま向けの製品です。
	JP1/IT Desktop Management 2 - Operations Director to Standard Upgrade*	JP1/IT Desktop Management 2 - Operations DirectorからJP1/IT Desktop Management 2 - Managerへアップグレードするためのライセンス製品です。
リモート操作	JP1/Remote Control Manager*	ネットワークを経由して、遠隔地にあるPCの画面を遠隔操作(リモートコントロール)する製品です。リモートコントロールする側の機能として、PCの操作や画面情報の記録や再生などの機能を備え、遠隔地での障害発生時の復旧対応や問い合わせ内容の確認などに役立ちます。
	JP1/Remote Control Agent*	JP1/Remote Control Managerと接続するエージェント製品です。リモートコントロールされるPCの画面をJP1/Remote Control Managerの画面上に表示させます。
セキュリティ管理		
情報漏えい 防止	JP1/秘文 Server 基本ライセンス*	ネットワークやデバイスの利用による情報の持ち出しをコントロールするためのポリシーを設定できます。また、クライアントで取得したログの収集・管理機能を提供する製品です。
	JP1/秘文 Server ファイルサーバライセンス*	ファイルサーバ上のファイルを共有フォルダ単位で暗号化する製品です。
	JP1/秘文 Device Control*	スマートデバイスやUSBメモリーなどのデバイスの利用を制限するだけでなく、テザリングや公衆無線LANなど、企業が許可しないネットワークの利用を制御する製品です。また、マルウェア検出製品と連携し、感染が検知された端末のネットワーク通信を遮断することもできます。
	JP1/秘文 Data Encryption*	PCの内蔵ドライブ、リムーバブルメディア、CD/DVD/BDのデータのほか、ファイルサーバ上のデータも暗号化できる製品です。強制的に暗号化することで、利用者の判断ミスによる暗号化の漏れを防止できます。
	JP1/秘文 Data Protection*	ファイルの参照以外の操作を禁止することで、ファイルの二次利用を防止する製品です。また、相手先に渡したあとも必要に応じてファイルの閲覧を停止することで、情報の拡散を防止します。なお、JP1/秘文 Data Protectionを管理するサーバ機能は、クラウドによるサービスとして提供します。

* 日本限定販売

複雑な運用の自律化を支援するJP1 関連サービスのご紹介

IT運用最適化サービス

AI適用、セキュリティ運用自律化、IT運用標準化など
運用のベストプラクティスに基づいたユースケースにより、
業務プロセスやシステム運用の全体最適化を
短期間で実現します。



業務プロセスやシステム運用の
現状分析を行ったうえで課題を整理

立ち上げ支援サービス

運用状況の可視化・最適な運用の提案・実装

アセスメント（現状分析、課題整理）や要件定義といった
立ち上げ時のコンサルティングと、
お客さまの環境に合わせた
SI（設計、実装、トレーニング）を提供します。

運用開始後のトレーニングや
継続的な改善などご要望に応じて支援

継続支援サービス

継続的なIT運用の改善をサポート

運用開始後の定期的な
アセスメントにより、
継続的な改善を支援します。

課題解決に最適なサービスプラットフォームの提供とシステムの設計・開発・実装



AI for IT Operations*

IT運用に特化したAIで、お客さまの運用データをもとにIT運用ノウハウを学習。フィードバックや類推技術の活用によりAIを育成・精度向上し、熟練者のレベルに近づけていきます。人による判断や分析が必要な作業、経験やスキルがないとできない作業にAIを適用することで、システム運用の効率化と作業品質の向上を支援します。



Security Operations Platform*

複数のしくみを組み合わせることで実現するセキュリティ対策。さまざまなセキュリティインシデントを集約することで、守るべきシステム全体の可視化、セキュリティリスクのいち早い発見、関係者間でのスムーズな情報共有が可能になります。運用を可視化・自動化・自律化し、運用負荷の軽減と運用効率化、セキュリティ品質の維持・向上を支援します。



ServiceNow

デジタルシフトによる企業の生産性を高めるための各種業務アプリケーションを提供。お客さまのニーズに応じた業務アプリケーションの組み合わせで、業務プロセスの標準化と最適化を実現します。「ServiceNow」の業務プロセスと「JP1」のシステム運用をシームレスにつなぐことで、企業のITサービスマネジメントの全体最適化を支援します。

* 日本限定販売

JP1 Cloud Service 日本限定販売

One PlatformでITシステムとオペレーションを統合的に管理するSaaS型のサービスです。複雑化・多様化したシステムにおける業務運用を自動化し、さまざまなデータとその関係性やナレッジを統合的に管理して、運用全体の共通化を進めることで、人に依存しないIT運用の実現をめざします。

運用管理プラットフォーム

オンプレミスからマルチクラウド環境にわたる業務全体を計画通りに実行し、システム全体を俯瞰（ふかん）して監視することで、業務の効率化と安定稼働を実現します。

- ジョブ管理プラットフォーム
JP1/Automatic Job Management System 3 - Managerの機能をSaaSで提供
- 統合管理プラットフォーム
JP1/Integrated Management 2 - Managerの機能をSaaSで提供

運用統合プラットフォーム

JP1 Cloud Service/Operations Integration(Ops I)

システムごとにサイロ化したIT運用を統合し、システム横断で運用作業全体の標準化と運用要員の共有化を促進、運用全体を統制することで、進化し続けるシステム全体の効率向上と品質確保の両立を実現します。

ジョブ運用データ分析サービス

ジョブの運用データを自動収集・蓄積して分析・評価し、ジョブ運用の健全性や保守性を可視化して改善を支援することで、柔軟で安定したジョブ運用を実現します。

※対象サービス・製品：ジョブ管理プラットフォーム、ジョブ管理 JP1/Automatic Job Management System 3

JP1 for IoT

さまざまなシーンで活用されているIoTデバイスや制御システムの安定稼働、セキュリティ対策のための適切な管理を実現します。

デバイス管理

インフラ網の整備や保全計画の最適化をはじめとするセンサーやカメラなどのデータ活用機会の拡大に伴い、IoTデバイスやその収集データを安全・安心に利用するための適切な管理が不可欠となっています。広域に散らばるIoTデバイスの構成情報や、稼働・不稼働といった状態の見える化、セキュリティ対策の一括実行などによってIoTデバイスを適切に管理することで、システムおよびデータの信頼性を維持し、継続的かつ安定したIoTデバイスの活用を支援します。

NX NetMonitor*

OT系制御システムがネットワークに接続されるようになり、セキュリティリスクが急速に顕在化。制御システムのネットワークに不正に接続された機器を検出し、ネットワークから排除することで、ウイルスの侵入や情報漏えいを防止します。

NX UsbMonitor*

OT系制御システムにUSBメモリが接続できるようになり、セキュリティリスクが急速に顕在化。使用可能なUSBメモリを登録して適切な使用を徹底し、登録していないUSBメモリの接続を排除することで、USBメモリの不適切な使用によるウイルスの侵入や情報漏えいを防止します。

さまざまなビジネスニーズの変化に応じて利用形態を選択いただけます

買い取りタイプ

JP1 製品を購入して所有できます。サポートサービスをご契約いただくことで、製品購入後の「問題解決の支援」「情報の提供」「改良版の提供」などのサービスをご利用いただけます。

サブスクリプションタイプ

JP1 のプログラムとサポートサービスを、一定の期間ご利用いただけます。導入時に製品を購入するのではなく利用期間に応じた契約のため、初期投資が抑えられます。

従量課金タイプ*

Amazon Web Services 上で、JP1 のプログラムとサポートサービスを時間単位でご利用いただけます。必要なときだけ時間単位で利用できるため、ピーク時・平常時で生じる使用の増減に柔軟に対応でき、投資コストを抑えられます。

SaaSタイプ* JP1 Cloud Service

システム運用で必要となる機能をクラウドサービスで一定の期間利用できます。お客さまは運用基盤を準備することなくITシステムを効率的に管理することができます。

* 日本限定販売

・TMEng.dllの著作権、特許権または商標権等の知的財産権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。

・AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。

・Amazon Web Services、「Powered by Amazon Web Services」ロゴ、Amazon EC2、Amazon RDSおよびAWSは、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

・Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国および/またはその他の一定の国における登録商標または商標です。

・IntelおよびXeonは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

・Linuxは、Linus Torvalds氏の米国および/またはその他の国における登録商標です。

・Macは、米国および/またはその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

・Microsoft、Active Directory、Excel、Hyper-V、Internet Explorer、Outlook、SQL Server および Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

・OracleおよびJavaは、オラクルおよび/またはその関連会社の登録商標です。

・SAPは、ドイツおよび/またはその他のいくつかの国におけるSAP SEまたはその関連会社の商標または登録商標です。

・ServiceNow、ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc.の商標または登録商標です。

・UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

・Veritas、Veritas ロゴ、Backup Exec、および NetBackup は、米国および/またはその他の国における Veritas Technologies LLC またはその関連会社の商標または登録商標です。

・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

●本カタログに記載している単位表記は、1KB(キロバイト)=1,024バイト、1MB(メガバイト)=1,048,576バイト、1GB(ギガバイト)=1,073,741,824バイト、1TB(テラバイト)=1,099,511,627,776バイトです。

●本カタログに記載している仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。

●マイクロソフト製品のスクリーンショットは、マイクロソフトの許可を得て使用しています。

●製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。

●本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト

<https://www.hitachi.co.jp/jp1/> (日本語)

<https://www.hitachi.co.jp/jp1-e/> (English)

■ インターネットでのお問い合わせ

<https://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

■ 電話でのお問い合わせは HCAセンターへ

 0120-55-0504 受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

 株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

CB-046T-A 2022.1

©Hitachi, Ltd. 2022. All rights reserved.